

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和２年度 第１回会議 次第

日時：令和３年３月24日（水）

午前10時00分から

場所：鴨川市役所 4 階400会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 審議会委員・事務局紹介

4 議 事

- （１）第２次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績について
- （２）男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について
- （３）中学校における男女共同参画セミナー実施結果について
- （４）その他

5 閉 会

[配布資料]

- 1 次第
- 2 出席者名簿
- 3 席次表
- 4 資料１ 第２次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績調書（主要な事業）
- 5 資料２ 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果
- 6 資料３ 中学校における男女共同参画セミナー実施結果
- 7 資料４ 【別冊】千葉県男女共同参画地域推進員南房総地域活動報告書

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和2年度 第1回会議 出席者名簿

日時：令和3年3月24日(水)

午前10時00分から

場所：市役所4階400会議室

1 委 員

氏 名	備 考
浅沼 紀子	
黒川 洋子	
立野 慶子	
長谷川 裕一	
速水 昭雄	

(アイウエオ順・敬称略)

[欠席委員]

氏 名	備 考
齋藤 守彦	
庄司 義広	
角田 佐智子	

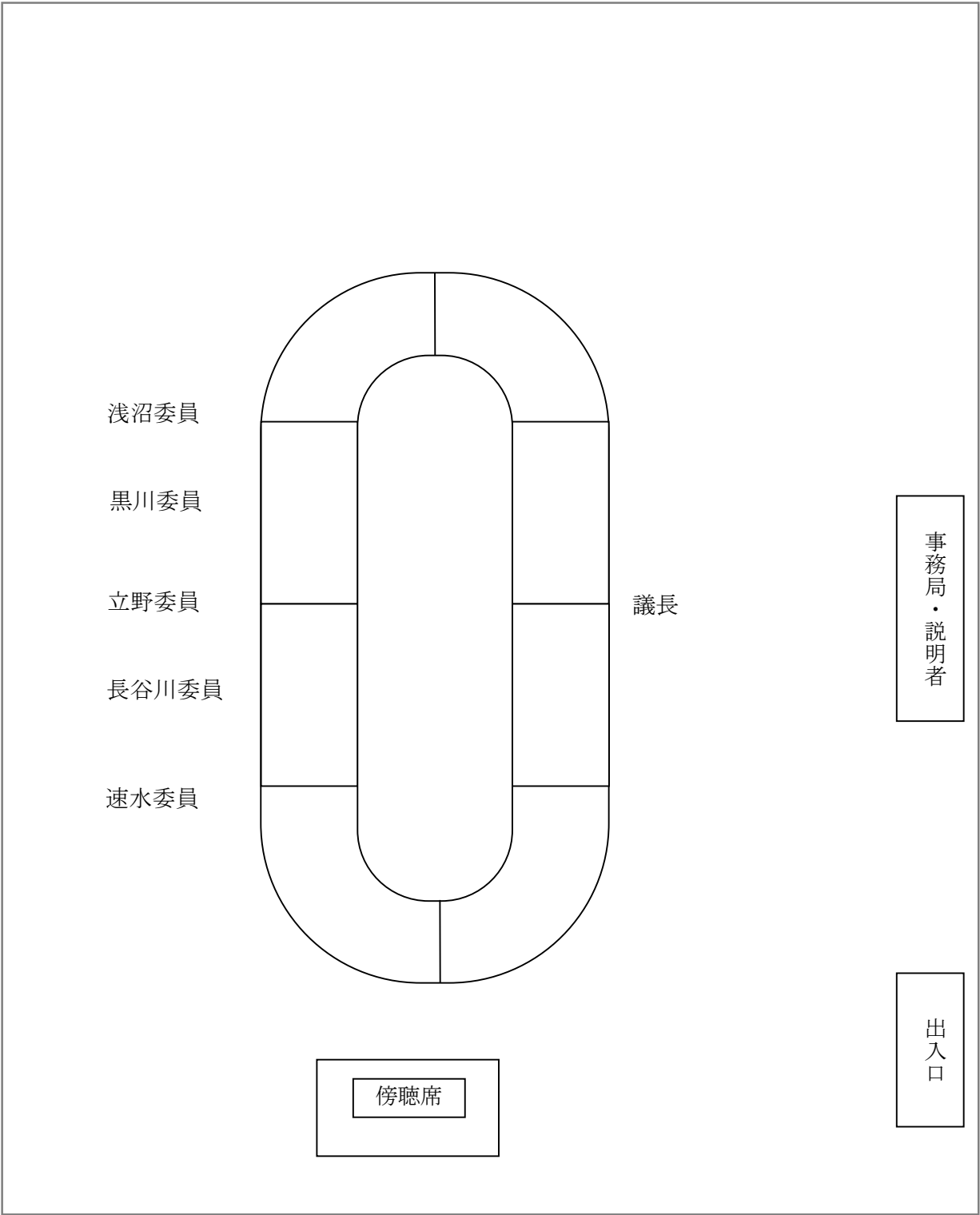
(アイウエオ順・敬称略)

2 市行政関係者

氏 名	所属・職	備 考
石井 秀征	経営企画課長	
岡安 泰弘	経営企画課長補佐	
内木 久美子	経営企画課秘書広報係主査	

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和2年度 第1回会議 席次表

日時：令和3年3月24日（水）
午前10時00分から
場所：市役所4階400会議室



第2次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績調書(主要な事業)

資料 1

担当課による評価について
○:一定の成果や数値的な実績が見られるなど、その取組みが堅調に推移していると認められるもの
△:具体的事業への着手は認められるものの、より一層の取組みや事業伸展が求められるもの
×:具体的事業に着手しているとはいえないもの

(◎)本計画の主要な事業

No.	事業名	事業内容	令和元年度の取組み状況	担当課による評価	担当課
基本目標1 人権の尊重と男女共同参画社会の実現					
施策の方向1 人権尊重と男女共同参画への意識改革と理解促進					
① 固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発の推進					
1	固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発(◎)	「男らしさ、女らしさ」や「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識や慣行等の解消を図るため、意識啓発を行います。	○国が制定している男女共同参画週間(6/23～6/29)に合わせ、次の活動を行った。 ・市内大型商業施設にて啓発グッズを配布した。6/28(金)、3施設、900セット ・市主要施設へ特設コーナーを設置し、啓発グッズを配架した。6/20(木)～6/28(金)、200セット ○啓発チラシ・グッズの配布による啓発活動を行った。 ・亀田医療大学の認知症サポーター養成講座で、学生に啓発グッズを配布。6/11(火)89セット ・鴨川ロータリークラブ会員対象に行った同講座で啓発グッズを配布。6/18(火)17セット ・成人式の際、啓発チラシを新成人に配布した。1/12(日)、300セット ・市政協力員を通じて啓発チラシを回覧した。3月1日便、1,040部、8,678世帯分 ○県と連携し、中学生を対象とした男女共同参画セミナーを開催した。 ・10/14(木)＝安房東中学校1～3年生71名(女子34名・男子37名)、教員	H28 H29 H30 R1 R2	○ ○ ○ ○ ○ 経営企画課
② 男女平等意識の醸成					
2	男女共同参画に関する情報の収集と提供(◎)	男女共同参画に関連する情報を収集し、市広報誌やホームページ等を通して広く市民に提供します。	○「第2次鴨川市男女共同参画計画」を市政情報コーナーへ配架し、併せて市ホームページに掲載した。 ○市広報誌6/15号へ「男女共同参画週間」に関する情報を掲載した。 ○県や国が主催する男女共同参画に関する各種行事のチラシ等について、市主要施設に配架した。 ○県が毎月2回発行する「ちばの男女共同参画マガジン」を市ホームページに掲載した。	H28 H29 H30 R1 R2	○ ○ ○ ○ ○ 経営企画課
3	男女共同参画に関するセミナー等の開催(◎)	県などの関連団体との連携のもと、男女共同参画に関するセミナー等のイベントの開催を検討します。	○地域推進員会議に出席した。(6回) ○地域推進員主催の寸劇事業にスタッフとして参画した。 ・11/13(水)＝「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」、私立翔凜中学校生徒・教員・関係者81名 ・11/22(金)＝「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」、袖ヶ浦市立蔵波中学校生徒・教員・関係者189名	H28 H29 H30 R1 R2	○ ○ ○ ○ ○ 経営企画課
③ 学校教育等における男女平等に関する保育・教育・学習の推進					
4	男女平等の視点に立った教育・学習の推進(◎)	学級会や児童会、生徒会といった校内組織における男女平等への配慮や、男女平等に関する歴史の学習の実施など、学校教育活動全般において、子どもの発達段階に即した教育や学習を推進します。	○校内のあらゆる組織を男女平等の視点で見直し、必要に応じて改善を行った。 ○固定観念解消のための教職員研修を実施した。 ○男女平等の視点に立った教職員の適切な指導や言動に努めた。 ○中学校の道徳の年間指導計画を作成をした。 ○千葉県男女共同参画課職員を講師に迎え、安房東中学校に全校生徒を対象とした男女共同参画セミナーを開催した。	H28 H29 H30 R1 R2	○ ○ ○ ○ ○ 学校教育課

No.	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	担当課による評価	担当課
5		教材等の選定にあたり、男女共同参画の視点を加味するよう努めます。	○男女平等の視点に立った教材の選定を行った。 ○児童の机の引き出しについて、男女ともに選定しやすい色(黄・青)を用意した。 ○ピアノの入れ物、絵の具や裁縫箱について、女子はピンク色、男子は水色と決めている学校もあったが、現在は男女とも自由に選択させている。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	学校教育課
④ 男女共同参画の意識を高める生涯学習の充実					
15	図書館における男女共同参画に関する図書の充実(◎)	男女共同参画に対する市民の正しい知識と理解を深めるため、関連図書を整備し活用を図ります。	人権に関する資料の購入や、情報の収集に努め、引き続き利用しやすいよう整備を進めた。 (参考)令和元年度末・蔵書冊数 101,055冊、AV資料 1,463点	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	生涯学習課(図書館)
16		男女共同参画に関する図書の利用件数が増加するように、展示の仕方等を工夫します。	○男女共同参画に関するポスターを館内に展示して、利用者が興味を持つよう促した。 ○12月の人権週間期間に人権ポスター展の会場として図書館の場所を提供するとともに、関連図書の展示を行った。 (参考)令和元年度末・蔵書冊数 101,055冊、AV資料 1,463点	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	生涯学習課(図書館)
施策の方向2 あらゆる暴力・虐待等を許さない環境づくり					
① DV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する対策の推進 【DV対策基本計画】					
22	DV被害者を支援する体制の充実(◎)	DV被害者の安心・安全を確保するため、関係機関と連携し、相談支援を実施します。また、DV被害者の保護と心身ケア、社会的自立を促す支援体制の充実を図ります。	○福祉総合相談センターが中心となり、他課や警察などの関連機関との連携を図りながら、DV被害者への支援を行った。緊急避難支援に係る費用負担が発生しなかったため事業費は0円であった。 【相談件数 16件 延べ支援回数 154回】	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	健康推進課
23		市広報誌やホームページ等を通して相談窓口を周知します。	○市広報誌やホームページ等を通して周知した。 ○啓発活動や地域行事等にてパンフレット等を配布して周知した。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	健康推進課

No.	事業名	事業内容	令和元年度の取組み状況	担当課による評価		担当課
施策の方向3 人権侵害を許さない社会環境づくり						
① 人権に関する相談等の充実						
36	人権相談の充実(◎)	全ての人が差別なく幸せに暮らす権利を守るため、千葉地方法務局と連携し、「特設人権相談所」を市内各地区において定期的に開設します。	人権擁護委員による特設人権相談所を毎月1回(年12回)、市内公共施設において開設した。 本庁4/16(火)・8/19(金)・12/17(火)、天津小湊支所5/14(火)・9/17(月)・1/16(金)・3/17(金)、吉尾公民館6/18(火)・10/17(木)・2/14(金)、太海公民館7/19(金)・11/19(火)、相談件数3件	H28	○	経営企画課
				H29	○	
				H30	○	
				R1	○	
				R2		
37	千葉地方法務局との連携を密にし、人権侵犯事件が発覚した場合における調査・救済のための協力体制の整備を進めます。	人権侵犯事件の事案はなかったが、千葉地方法務局、人権擁護委員、市の連携との連携を密にし、協力体制の整備を図った。	H28	○	経営企画課	
			H29	○		
			H30	○		
			R1	○		
			R2			
38	市広報誌及びホームページ等を通して相談窓口を周知します。	○特設人権相談所の開設について、ホームページに年間予定を掲載した。 ○毎月1日発行の広報誌に周知記事を掲載した。 ○公共施設等へ関連するポスターの掲示やリーフレット類を配架した。 ○人権擁護委員が市内小学校7校、中学校2校で実施した人権教室の中で、子どもの人権相談窓口について周知した。 ○国が定めている人権週間(12/4～12/10)に合わせ、次の活動を行った。 ・市内大型商業施設周辺にて啓発物品を配付した。12/6(金)	H28	○	経営企画課	
			H29	○		
			H30	○		
			R1	○		
			R2			
② 男女共同参画に関する調査・研究と、情報の収集・提供						
40	男女共同参画に関する市民意識調査の実施(◎)	男女共同参画に関する市内の実情や市民の意識の現状を明らかにするために必要な調査項目を検討し、市民意識調査を実施します。また、調査結果をホームページ等に掲載することにより、情報提供・啓発を行います。	平成27年度に実施した市民意識調査の結果報告書を市政情報コーナーへ配架するとともに市ホームページへ掲載した。	H28	△	経営企画課
				H29	△	
				H30	△	
				R1	△	
				R2		
基本目標2 あらゆる分野における男女の参画促進『女性活躍推進計画』						
施策の方向1 行政における男女共同参画の推進						
① 各審議会等委員への女性の参画促進						
44	審議会等における女性委員の登用の促進(◎)	『鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針』に基づき、各審議会等における女性の登用率が30%以上になるように努めます。	各審議会等における委員の登用状況等を調査し、女性委員の登用率が低い審議会等には向上を図るための取組、検討を促した。 平成31年4月1日現在 各審議会等委員数 278人(うち女性委員数 61人 登用率 21.9%)	H28	△	総務課 各所属
				H29	△	
				H30	△	
				R1	△	
				R2		

No.	事業名	事業内容	令和元年度の実績状況	担当課による評価	担当課
施策の方向3 家庭や子育てにおける男女共同参画の促進					
① ワーク・ライフ・バランスの啓発					
51	事業所等に対する広報・啓発(◎)	ワーク・ライフ・バランスに関連する情報を収集し、市内事業所等に対する広報・啓発を行います。	○厚生労働省及び千葉労働局が作成したワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを市主要施設に配架した。また、鴨川市商工会を通じて会員事業所(1,001事業者)等へ配布した。 ○広く市民や事業者への周知・啓発を目的として、ワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを鴨川市の主要施設や鴨川市ふるさとハローワークへ配架した。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	商工観光課
② 男性の家事・育児・介護への参画促進					
52	男性の食生活改善事業(◎)	主に高齢男性の食の自立を目的として、健康づくりに関する知識や調理技術の向上に関する講習会等を実施します。	○鴨川市食生活改善協議会に委託して男性向けの食育活動を実施した。 ・東条料理クラブ 実施回数:10回、参加延べ人数:120人、内容:調理実習等 ○任意団体「食楽会」への人的支援を行った。 食楽会:実施回数:3回、参加延べ人数:19人、内容:講義や調理実習等	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	健康推進課
53	パパママ学級の開催(◎)	男女が共に力を合わせて育児に参加できる社会づくりを促進するため、意識啓発と技術指導を兼ねたパパママ学級を開催します。	○妊娠5～8か月妊婦とその家族を対象とするパパママ学級を開催。5回／コース(年3コース) 参加者数 妊婦:実人数37名 延べ88名、夫:実人数23名 延べ38名、母:実人数1名 延べ4名 ○パパママ学級受講歴のある産後3～6か月の母親と、その子どもや家族を対象とするパパママ学級同窓会を開催。 年3回、参加者数:16組	H28 ○ H29 ○ H30 △ R1 △ R2	健康推進課
54	育児、介護等に関する講座等への男性の参加促進(◎)	育児や介護等に関する各種講座等への男性の参加が促進されるように、開催日時や講座のテーマ等について工夫します。	パパママ学級及びパパママ学級同窓会における講話の中で、父親の役割についての話しを盛り込むなど工夫を図った。 実施:水曜日又は木曜日、午後1時30分～4時 内容:パパの妊婦体験、沐浴実習、お産の補助動作、赤ちゃんとのふれあい等	H28 △ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	健康推進課
③ 教育・保育事業の充実					
55	幼保一元化の推進(◎)	一体型施設や近接施設において、4・5歳児には幼稚園での幼児教育を行い、0～5歳児の共働き家庭等の児童には保育サービスとして、朝夕の延長保育を提供する幼保一元化を引き続き推進します。	市内認定こども園における3～5歳児及び市内全幼稚園における4・5歳児の幼児教育を行うとともに、保育園と併せて0～5歳児の朝夕の預かり保育及び延長保育を実施し、働きながら子育てがしやすい環境づくりに努めた。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	子ども支援課
57	学童保育の充実(◎)	市内の留守家庭児童の健全育成と事故防止のため、学童クラブを運営する団体に補助金を交付するほか、運営支援を行います。	学童クラブを運営する7団体に補助金を交付した。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	子ども支援課

No.	事業名	事業内容	令和元年度の実績状況	担当課による評価	担当課
④ 地域が一体となった子育て支援体制の充実					
62	ファミリー・サポートセンターの利用促進(◎)	子育てを支援したい人と子育て支援サービスを受けたい人の相互援助組織であるファミリー・サポート事業の周知に努め、その利用を促進します。	利用促進を図るため、提供会員の増加につながる勧誘や市広報誌への掲載を行った。 ・会員登録 提供会員7人、依頼会員22人、両方会員2人 利用実績28件	H28 △ H29 △ H30 △ R1 △ R2	子ども支援課
施策の方向5 雇用の場における男女の機会均等と待遇の確保のための環境づくり					
② 就職希望者に対する情報提供					
68	女性の再就職の促進(◎)	ハローワーク等の関係機関と連携し、女性の再就職希望者に特化した相談窓口を周知するとともに、職業訓練など、職業能力開発に関する情報の提供に努めます。	○鴨川市ふるさとハローワークにおいて職業相談員による職業相談・職業紹介等を実施した。新規求職者数437件・職業相談数1,500件・職業紹介数828件・就職件数320件(年度内延べ件数) ○女性の再就職希望者の身近な相談窓口として、鴨川市ふるさとハローワーク及び館山公共職業安定所(ハローワーク館山)、千葉県ジョブサポートセンターを周知するため、本市広報紙への掲載やリーフレット等を市主要施設に配架した。 ○女性の再就職希望者に向けた各相談窓口を周知するため、厚生労働省及び千葉県労働局が作成したポスターの掲出やリーフレットを市主要施設に配架した。 ○千葉県労働局や千葉県ジョブサポートセンター等が主催する女性向け再就職セミナーや職業能力開発研修会等を周知するため、ポスターの掲出やリーフレットを市主要施設に配架した。	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	商工観光課
施策の方向6 農林水産業・自営業における女性の地位向上の促進					
① 農林水産業における男女の経営参画の促進					
71	家族経営協定の締結の促進(◎)	認定農業者を対象とした研修等において、家族経営協定の締結による男女のパートナーシップの確立について啓発を行います。	認定農業者及び志向者のための研修会を開催し、家族経営協定の説明・啓発を行った。 8/6(水)、参加者数29人、締結総数3戸	H28 ○ H29 ○ H30 ○ R1 ○ R2	農林水産課

男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について（令和元年度）

1 男女共同参画週間に係る周知啓発活動

（１）趣旨

男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について市民の理解を深めるため、国が定める「男女共同参画週間（毎年６月２３日から２９日までの１週間）」に合わせ、男女共同参画に係る鴨川市の取組みを実施するもの。

（２）取組内容及び実施結果

１）男女共同参画啓発キャンペーン

- ・実施主体 鴨川市秘書広報課・健康推進課
- ・日 時 令和元年６月２８日（金）１７時００分から１８時００分まで
- ・場 所 ベイシア鴨川店（２か所・食品側出入口、スポーツ用品側出入口）
イオン鴨川店（２か所・駅側出入口、神社側出入口）
おどや広場店（１か所・出入口付近）

・概要

男女共同参画に関する基本的な考え方やＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）に関する市や県の相談窓口の周知を図るため、上記商業施設の来店者に対し、啓発グッズ 900 セットを配布した。

※その他、６月１１日（火）に亀田医療大学で実施した「認知症サポーター養成講座」の際に学生へ 89 セット、６月 18（火）に鴨川ロータリークラブ会員対象に行った同講座の際に 17 セットを、それぞれ配布した。

セット内容

チラシ・パンフレット名	発行元
男女が互いに思いやりいきいきと活躍できる社会の実現に向けて	鴨川市
鴨川市福祉総合相談センター	鴨川市
鴨川市福祉総合相談センター（ティッシュ）	鴨川市
ドメスティック・バイオレンスを知っていますか	千葉県男女共同参画課
配偶者や恋人からの暴力は絶対に許されません！（カード）	千葉県女性サポートセンター

*活動の結果

人が多く集まる商業施設において、職員が啓発グッズを直接手渡しすることにより、男女共同参画に係る本市の活動を市民にＰＲする機会となったことに加え、「男女共同参画とはどのようなことか」を考えていただく契機にもなった。

また、亀田医療大学の学生や鴨川ロータリークラブ会員を対象として「認知症サポーター養成講座」の際に、啓発グッズを配布することにより、幅広いに向けた意識啓発を行うことができた。



※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施せず

2) 市主要施設への特設コーナーの設置

- ・実施主体 鴨川市経営企画部経営企画課
- ・期 間 令和元年6月20日(木)から6月28日(金)までの9日間
- ・設置施設 鴨川市役所本庁舎
天津小湊支所
鴨川市総合保健福祉会館 (ふれあいセンター)

・概 要

男女共同参画社会の実現に向けた考え方や、DVの相談窓口などに関する市民への周知啓発を図るため、市主要施設に特設コーナーを設置し、関連するチラシ及び啓発グッズ200セットを配架した。

※セット内容は、男女共同参画啓発キャンペーンと同じ

＊活動の結果

鴨川市役所本庁舎においては前年を上回る配布率であったが、天津小湊支所においては配布率 52.0%と、前年度を大きく下回り、また、鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）においても、前回並みを維持したが、配布率は低いままであった。

施設別 配布部数

施 設 名	配架数	配布数	配布率 (%)	【参考】平成 30 年度 配布率 (%)
鴨川市役所本庁舎	100	97	97.0	83.0
天津小湊支所	50	26	52.0	74.0
鴨川市総合保健福祉会館 (ふれあいセンター)	50	23	46.0	44.0
計	200	146	73.0	71.0



※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施せず

中学校における男女共同参画セミナー実施報告

鴨川市経営企画部経営企画課

1. 概要

男女共同参画社会の実現に向けて、固定的な性別役割分担意識等の解消及び男女平等意識の醸成を目的とした意識啓発を推進するため、千葉県県男女共同参画課職員を講師に迎え、市内の中学生などを対象とした男女共同参画セミナーを開催した。

セミナー終了後、参加者の感想を求めるとともに、中学生の男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケートを実施した。

2. 実施主体 鴨川市経営企画部経営企画課

3. 日時・会場 令和元年 11 月 14 日(木)・安房東中学校 (13:00～14:35)

4. 参加者 1～3年生 71 名(女性 34 名、男性 37 名)、教職員

5. テーマ 「男女共同参画の推進」

6. 講師 千葉県総合企画部男女共同参画課 企画調整班 副主幹 飯田朋子 氏

7. セミナーの概要

テーマへの導入として、まず講師から生徒に対しクイズが出題された。クイズ中の「優秀な外科医」という言葉から無意識のうちに男性をイメージしてしまう「固定的性別役割分担意識」が問題となっており、これを解消することで、多様な価値観を認め合い、性別に関係なく個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現につながると説明した。

その上で、男女の地位の平等感や専攻分野別の男女割合、研究者に占める女性割合の国際比較、共働き等世帯数の推移などのグラフやデータにより、理系に進み研究者になる女性が少ないことや、男性がもっと家事・育児の時間を持つべきとの見解が示された。

これら課題の改善策の一つとして国や県の取り組み事例が紹介された。国においては平成 30 年 5 月 23 日に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行され、県では第 4 次千葉県男女共同参画計画において、子育て・介護への支援やワークライフバランスの復習促進など 6 つの重点的取組を設定しているとのことであった。

次に講師は、深刻な社会問題となっている DV について、身体的から精神的、社会的、経済的、性的まで様々な形態があることを示したうえで、中学生にも身近な「デート DV」について、特に注意するよう語った。スマホを勝手に見る、どこで何をしているかいつも確かめる、服装や言動を細かくチェックするなどの行為はデート DV の疑いがあり、被害に遭っていると思ったら相談するよう指導した。

セミナーのまとめに際し、講師から生徒たちに対し、「自分らしく生きよう」、「自分や友達の人権について考えよう」、「固定的役割分担意識を変えよう」と呼びかけがあり、知識から意識になるよう、日々の積み重ねが大事であると伝えた。

終了後、生徒代表者から講師に対し、「セミナーで学んだことを、これからの生活に活かします」とお礼のあいさつがあった。

8. 取組みの成果と今後の方向性

男女共同参画という堅苦しいイメージがあるテーマを、具体的や数値やクイズなどを交え、わかりやすい説明と適度な質問により生徒とのコミュニケーションを図りながら、和やかな雰囲気の中にセミナーが進行した。生徒からのアンケート結果からも、生徒たちが身近な問題として捉えている様子が伺えた。

男女共同参画社会の実現に向け、次代を担う中学生への啓発は不可欠であることから、今後も県と市内中学校の協力を得ながら、定期的な開催をめざしたい。

9. 記録写真



1～3年生 71 名が聴講



生徒の質問に答える飯田講師



生徒代表からお礼の言葉

※令和2年度の中学校における男女共同参画セミナー（長狭中学校）は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず

アンケート集計結果報告書

1 調査の目的

セミナーの参加者に対し、聴講後の感想を求めるとともに、男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケート調査を実施した。

2 調査の概要

- (1) 調査日：令和元年 11 月 14 日(木)
- (2) 対象者：安房東中学校 1～3 年生 71 名（女性 34 名、男性 37 名）
- (3) 回収数：N（全体数）＝71 名（回収率：100.0%）
- (4) 調査方法：セミナー終了後、生徒に回答してもらい回収した。

3 調査項目

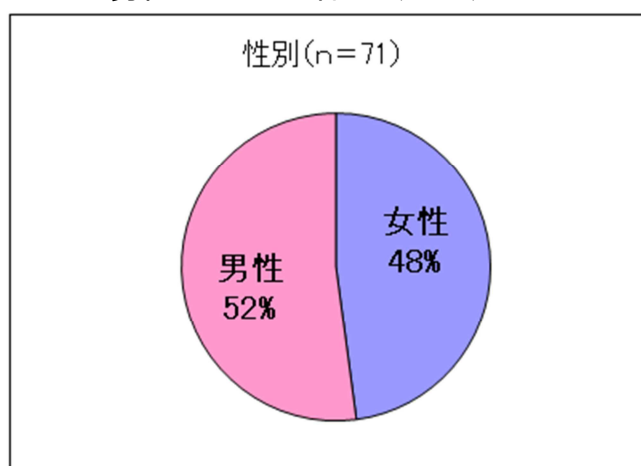
性別、「男女共同参画」・「DV」の言葉の認知度、家庭や学校における固定的な性別役割分担意識、性別の違いによる不平等、感想・自由意見など

4 集計結果

（Q 1）性別〔択一 n＝71〕

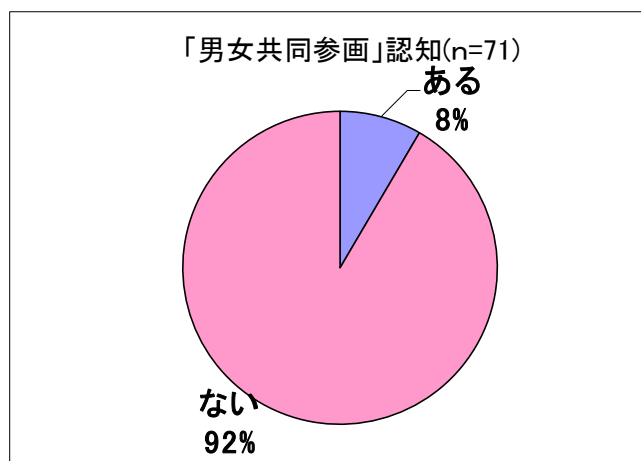
回答者の性別は、女性 48%、男性 52%となっている。

- 女性 34 名 (48%)
- 男性 37 名 (52%)



（Q 2）「男女共同参画」の言葉の認知度〔択一 n＝71〕

「男女共同参画」という言葉を聞いたことがあると答えた人が 8%、ないと答えた人が 92%となっている。

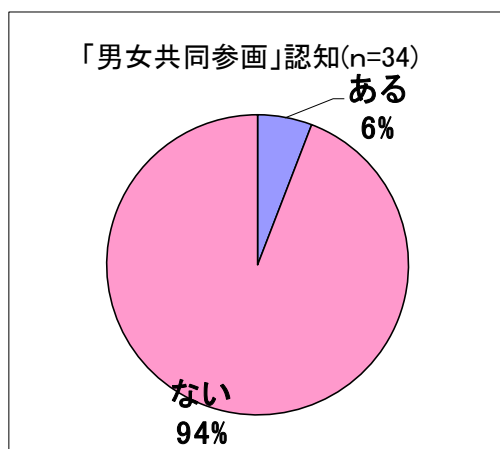


<男女別の回答>

○ 女性

「ある」 2 名 (6%)

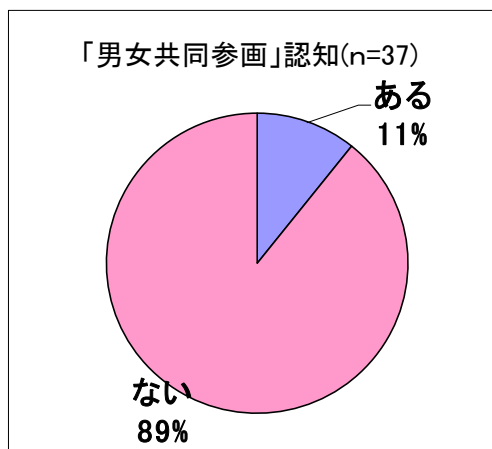
「ない」 32 名 (94%)



○ 男性

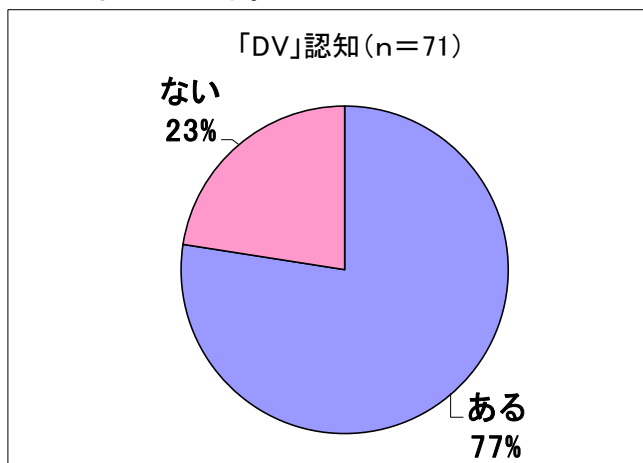
「ある」 4 名 (11%)

「ない」 33 名 (89%)



(Q3) 「DV」の言葉の認知度〔択一 n=71〕

「DV」という言葉を聞いたことがあると答えた人が 77%、ないと答えた人が 23%となっている。

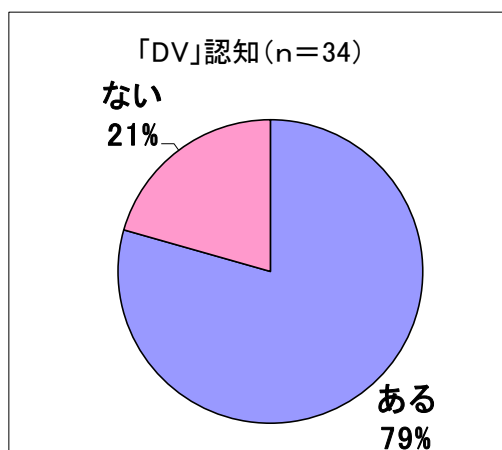


<男女別の回答>

○ 女性

「ある」 27 名 (79%)

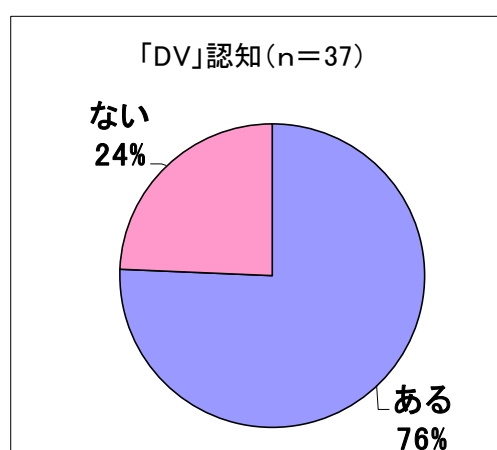
「ない」 7 名 (21%)



○ 男性

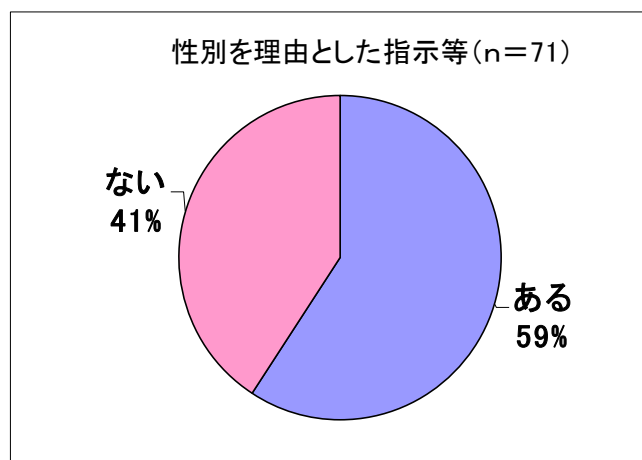
「ある」 28 名 (76%)

「ない」 9 名 (24%)



(Q 4-1) 固定的な役割分担意識〔択一 n=71〕

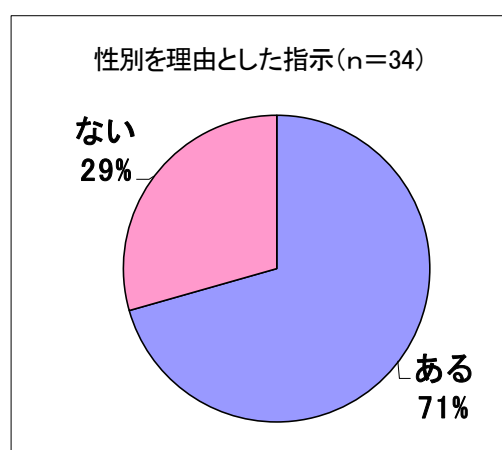
家庭や学校において、性別を理由に指示を受けたり意見を言われたりしたことがあると答えた人が 59%、ないと答えた人が 41%となっている。



<男女別の回答>

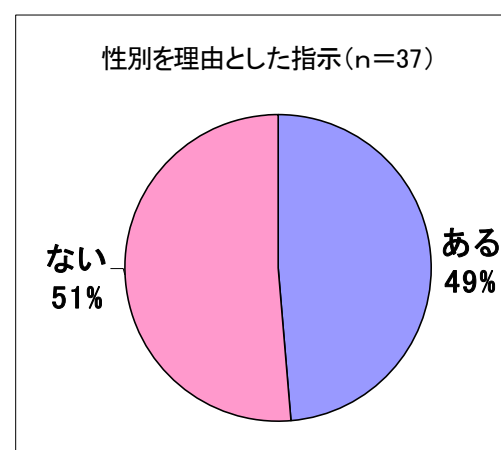
○ 女性

「ある」 24 名 (71%)
「ない」 10 名 (29%)



○ 男性

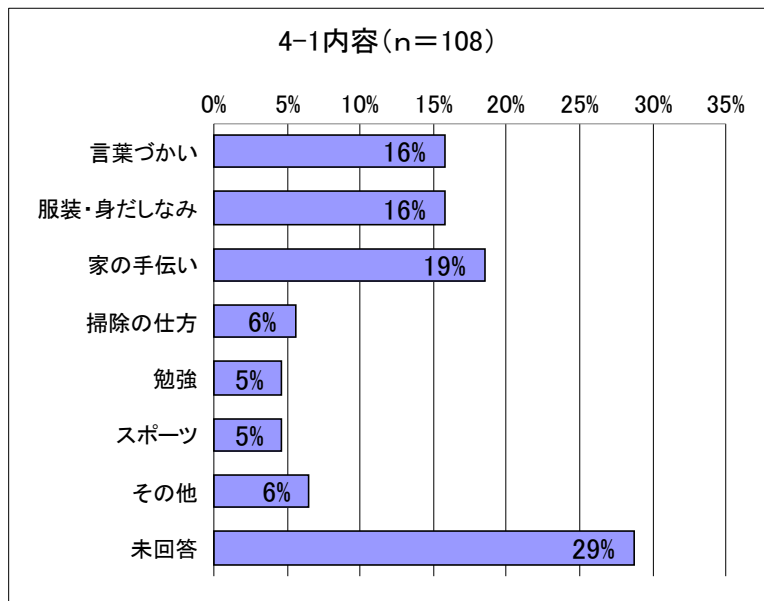
「ある」 18 名 (49%)
「ない」 19 名 (51%)



(Q 4-2) Q 4-1 の内容〔複数選択 n=108〕

Q 4-1 で、「ある」と答えた人のうち、その内容について、「家の手伝い」が 19%、次いで「言葉づかい」が 17%、「服装・身だしなみ」が 17%となっている。

- 言葉づかい 17 件 (16%)
- 服装・身だしなみ 17 件 (16%)
- 家の手伝い 20 件 (19%)
- 掃除の仕方 6 件 (6%)
- 勉強 5 件 (5%)
- スポーツ 5 件 (5%)
- その他 7 件 (6%)
- 未回答 31 件 (29%)



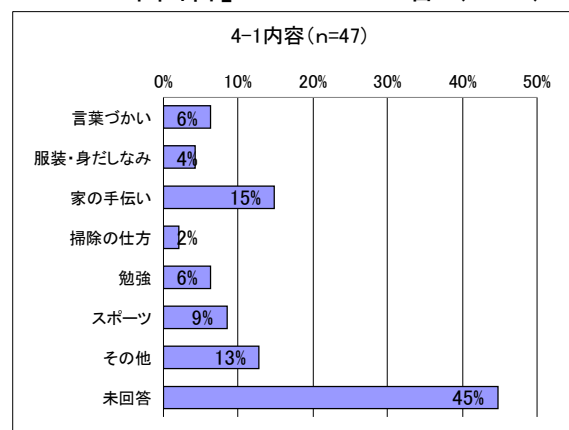
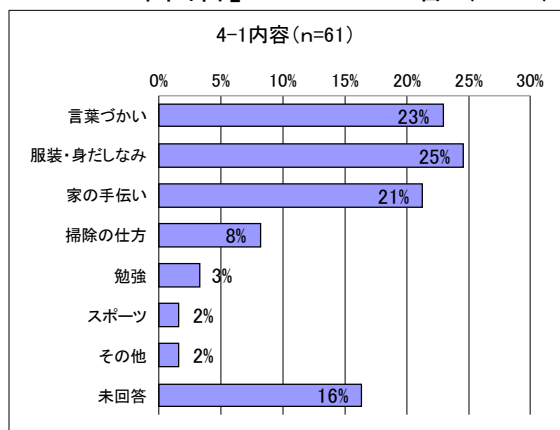
＜男女別の回答＞

○ 女性

「言葉づかい」	14名 (23%)
「服装・身だしなみ」	15名 (25%)
「家の手伝い」	13名 (21%)
「掃除の仕方」	5名 (8%)
「勉強」	2名 (3%)
「スポーツ」	1名 (2%)
「その他」	1名 (2%)
「未回答」	10名 (16%)

○ 男性

「言葉づかい」	3名 (6%)
「服装・身だしなみ」	2名 (4%)
「家の手伝い」	7名 (15%)
「掃除の仕方」	1名 (2%)
「勉強」	3名 (6%)
「スポーツ」	4名 (9%)
「その他」	6名 (13%)
「未回答」	21名 (45%)



※「その他」の回答内容：「行動」、「態度」等

(Q5) 性別の違いによる不平等 (抜粋)

○ 女性

- ・「女の子なんだから〇〇しなさい」と言われたことが何回かあるので、男女関係なく、平等にあつかってほしいな。と思っています。
- ・家とかで、女の子なんだから、片付けなさいとか、足とじなさいなどをいわれるから、その面が、男女不平等だと思いました。でも別にいいと思いました。
- ・ありません。ですが、大学での受験で、男性は通常だけど、女性は、男性よ

り合格りつが低くなっていて、そこが、不平等だと感じることです。

- ・力仕事は男子にまかせろと言われたことがある。
- ・女子は細かいこと（裁縫など）、男子は荷物運び。女子でも、細かい作業が苦手な人いると思った。
- ・特になし。

○ 男性

- ・男子だからって運動内容が女子よりきびしいと感じた。
- ・そこまで性別による不平等は感じたことないけど男だから「泣かない」とか「荷物を持って」とかはあると思う。
- ・女子は男子に少し強く言っても許されるのに、その逆で、男子が強く言ってしまうと許されないのはなぜだろうと思った。
- ・なぜ女性に優しくしないといけないのか。
- ・女子はあまりおこられない。
- ・特にないです。

（Q 6）男女共同参画社会の実現に必要なこと（抜粋）

○ 女性

- ・TVなどで、前、LGBTの方たちのことがやっていて、日本は同姓婚ができないので、1人1人の恋愛なんだから、国も同性愛というものを認めるべきだと思います。
- ・今は、学部で理学や工学、医学、歯学が少ないです。それに日本の研究者も少ないのもっと女性も働きやすい環境をつくってほしいと思いました。
- ・私は今までもそうしてきましたが、誰かが困っていた時には相談相手になってあげたいと思いました。聞いてあげると相手もちよっとは安心すると思いました。
- ・相手がいやがるDVなどをやらずに、相手のことのことも考えて、生活などをしていきたいと思いました。
- ・差別などをなくして、男の人と女の人が同じ時間ぐらいで仕事などをして、家のことなども、男の人がやっていいと思いました。
- ・実現するためには、まず男女共同参画社会というのを広めていくことが必要だと思います。なので、今後、私は、家族や親せきなどに、今日教えていただいたことを広めたいです。
- ・男女の差別をなくすために、互いに信頼すること、意思を尊重すること、助け合うことの大切さが大事だと思ったので、自分も理解し合うことがいいと思う。
- ・男は男だから働いて、女は女だから1人でいくじをする。ではなくて、共同作業をすればいいと思う。
- ・Dr スミスのお話を聞いた時に、男だと思っていたので母親だと聞いてびっくりしました。まだ偏見があると思ったので男女への偏見を自分の中から少しずつなくしていきたいと思いました。

○ 男性

- ・ 全ての人がある他人の環境を知り、助け合うという気持ちをわけること。男性が女性の地位の低さを知り、色んな場所での女性の人の意見も取り入れること。
- ・ 世の中の人々の固定概念を取り除く必要がある。私は小学校の時の先生が何も悪行をしていないのに対し、（他の人がやっていた時）そこに（現場）いた人にすごく説教する。というのはどうかと思いました。なので私は決めつけや、自分の意見を相手に押し付けるのをやめ、人に優しくこれからは接しようと考えます。そしていつか男女差別、格差が消えるといいなと思っています。
- ・ 例えば、女子は家庭科がとくいなイメージがあるからまかせてしまう時があるので男子もちゃんとできるようにする必要がある。
- ・ 考えてばかりじゃなくて、行動などもした方がいいと思いました。こういったDVなどがあつたときは自分でちゅういなどをしてほしいと思いました。
- ・ 自分が大人になったら仕事だけではなく、子育てのことも考えたいです。
- ・ 1人1人が固定的役割分担の意識をなくす。自分が大人になった時に、育児休暇を取ることで周りの人の意識も変えることができるかもしれないと思った。
- ・ みんな、女性と男性の区別をせずに、平等にくらすという意識をみんなが思えばいいと思う。
- ・ 男性も子育てに参加するために有休を育児目的で使えるようにする。残業時間を減らす。
- ・ 将来自分に子供が出来た時、育児に携わる時間になるべく確保するとともに、育児休暇も取っていききたいと思う。

（Q7）感想・自由意見（抜粋）

○ 女性

- ・ 今日は男女共同参画セミナーをやりました。私が知らなかったことを、今日セミナーについて知ることができました。だからまだ知らないことがあるので、知りたいです。
- ・ 自分の親も共働きなので、男性は外で働く、女性は家事などという、性別で区別するのではなく、自分のしたい仕事をできるような社会になればいいな。と思いました。
- ・ 最初は「男女共同参画」ときいてなんだろうと思いました。でも話をきいて、最初より意味がわかりました。そしてDVや女子受験者を一律減点することはやめて、良い世の中になったらいいなと思います。
- ・ 今日のセミナーで私は、話がむずかしそうだなと思っていたんですが、グラフやこまかい所を書いてくれたことで分かりやすくなっていて話がよく分かりました。
- ・ 今日初めて、男女共同参画という言葉を知ったんですが、今日のお話を聞いて、よくわかりました。これからは、相手の気持ちを考えて、生活をしていきます。
- ・ 今日の男女共同参画は、男の人でも女の人でも、十分に個性と能力を発揮して、共によい生活をおくって差別のない世の中にしていきたいです。
- ・ 今日のセミナーで、問題になっていることが、たくさんあるなと感じました。

特に DV などは、人に暴力をするということなので、けっしてしてはいけないことだと思いました。

- ・今日のセミナーで、はじめのクイズで、名前で男子と女子が決めてしまったので、そういうところをなおしていきたいです。男女共同参画社会ということとはなにかよくわかりました。
- ・固定的役割分担意識を変えることの大切さ、また、ひとりひとりが幸せな社会のためにできることがあると思うので、もう一度考えていきたいです。
- ・デート DV というのを知らなくて、監視やメールのチェックなど暴力じゃないことも DV になるんだなと思った。日本は家庭のことに男性が関わっていなさすぎるんだとあらためて思った。
- ・男女でお互いが個性を認めあえる。
- ・最初の方で「当時は、男女共同参画は、普通ではなかった。」と言っていたが、普通になったのは、いつぐらいからなのか？
- ・今日のセミナーでは私のしらなかった事や DV はいろんな種類があってデート DV とかカップルの DV もあるんだなと思いました。とてもくわしくはなしをしていた。
- ・今まで自分の思い込みで色々判断してしまっていた部分があったけれどセミナーを聞き、男性だけ、女性だけが得をする生活をなくすために、日々から身近な人のことを考えるなど小さな積み重ねから始めていきたいです。
- ・世界と比べた時に日本は、色々な数値が低いことにおどろきました。家事や育児の時間が妻と夫ですごく差があることがわかりました。なので、他の国はどうしたら家事や育児の時間が平等になっているのか気になりました。
- ・DV や、パワハラなど、今の社会は色々なトラブルがある事がわかりました。子供の育児では、女性よりも、男性が、育児をする時間がとても短かいことがわかりました。私が大人になったら、今よりも良く、くらしやすい社会になってほしいと思いました。
- ・「男女共同参画」という言葉は聞いたことがなかったけれど、けっこう身近なところにあると思いました。男女格差はまだまだあるのだと知り驚きました。
- ・私は、最初の質問時、名前を聞いただけで男性だと思ってしまいました。自分の中で変けんを無くしていきたいです。
- ・男女についてあまりくわしくはなかったけどこのセミナーをとおしてくわしく知ることができた
- ・とてもわかりやすい説明でした。お忙しい中ありがとうございました。
- ・初めてきいた言葉とか、いろいろしらなかったもので、よかったです。貴重なことをしていただいて、うれしかったです。
- ・難しいことの方が多いと感じましたが、後半にあった DV などは、きいたことある用語だったので、よく分かった。
- ・説明を受けるまでは特にどのような物なのか知らなかったのですが、男女共同参画は社会で男女がすごしやすくなるためのものだなと思ったので少しずつ理解を深めたいなと思いました。
- ・男女共同参画社会に、ダイバーシティとダブルケアというものが合ったのですが、それは何ですか？

- ・「LGBT」という言葉が資料にあり、それはなんなのか気になったけれど、わかりやすく丁寧に教えてもらえたのでよかったです。
- ・はじめてきく言葉があつてすごく勉強になりました。わからない言葉もあつたりしたけどすごくわかったのでよかったです。
- ・今までに知らなかったことを、たくさん知ることができて良かった。
- ・男女の職場でのありかたなど、DV やパワハラ セクハラなどニュースに最近おおくでているので1人1人が意識して平等になったらいいです。

○ 男性

- ・学校という場所では、男性と女性の平等感というものは感じづらいですが、ニュースを見たりすると女性議員の少なさなどをよく感じるこのできる機会になりました。
- ・マイクの調子、性能が悪いのか、よく聞こえなかったので、直してほしいです。そして最近、ニュースなどでDV（虐待）などがとても多いので、命を（子ども）大切にしてほしいです。こう思う理由は、子どもはこれからの社会を背負う人なので、希望なので、家族が子どもの命を奪うということは、とても悪い事なので、僕が親になったら絶対にそういうことがないようにしたいです。
- ・最初に出てきた Dr スミスで、ぼくも男性だと思ってしまった。今日のセミナーで男性だから仕事、女性だから家庭と決めつけないでびょうどうになれたらいいなと思いました。
- ・自分もこういったことをかんがえてみたいと思いました。DV などこういったこともあるんだなと思いました。
- ・今日、初めて男女共同参画ということばを聞きました。その話の中に出てくる、DV やパワハラなどは聞いたことがあります。でも、そこまで詳しいことは知らなかったので今日分かりました。
- ・今日の、男女共同参画では、参画の意味が分かったり、男女の育児や職業の差についてはよくわかったのでよかったです。
- ・今日のセミナーで僕は、男女のちがいなどで決めつけないようにしたいと思います。それに、大人になったらDV をしないようにしたいです。
- ・聞いた事が無い言葉がたくさんでてきました。男女共同参画社会という言葉もそうで、僕も女性への差別がなくなってほしいと思いました。そして男女が人権を尊重できる社会になってほしいです。
- ・男性と女性を差別するのはダメだし、これからは、男性も子育てや家事をして、生活を豊かにしていく時代だとわかった。
- ・今日のセミナーで、男女共同参画って最初はなんだろう？と思っていました。この学習でよくわかりました。
- ・やってみて男女の印象や、差別などがこんなにあつて、こんなに割合などがかたよってしまっているんだなと思ったから、誰もが印象とかも関係なく出来たらいいなと思った。
- ・難しい言葉がたくさんあつてよく分からなかった。
- ・今日は、難しい言葉がいっぱいできて新しい言葉をいっぱい知れました。次からは今日教えてもらった事を意識して生活していきたい。

- ・男女での不平等な所がたくさんあったのでその不平等がなくなればいいと思った。自分達中学生でもできることがあればできるようにしたい。
- ・「男女共同参画」という言葉を聞いたことがなかったので説明を聞いていまはDVなどがたくさん問題になっていることをわかりました。
- ・今日のセミナーで、男女差別をなくすためにはどうすればいいのかなどを知ることができたのでよかったです。
- ・男女共同参画とはどうことかと言うのがわかりました。仕事や家庭についてわかりました。地域活動における男女共同参画の促進についてわかりました。
- ・いままで男女共同参画社会という言葉を知ることがなかったので、今日のセミナーでいろいろ学ぶことができました。
- ・男女共同参画という言葉をもっとしらなかったで、今日少しでも知れて、いいと思った。
- ・僕は最初のクイズで、男だと思ってしまったので、女かもしれないという考えも、頭の中にいれておきたいと思った。
- ・仕事と家庭の調和ができないのが原因で生活の質が低下したり、人口減少につながってしまうのはよくないと思った。年々男女共同参画に対しての意識が良くなってきて良いと思った。
- ・話や資料だけでなく、映像でもっと分りやすくしてほしい。
- ・Dr スミスのクイズで、僕は男性だと思いこんでしまって、1つのへんけんだったから変えていこうと思った。
- ・僕はDr スミスの時、完全にきめつけていたのでこれからは決めつけしないで（固定的な考え）をしないように思った。
- ・スミスの話を聞いた時に頭がこんらんしたけど答えをきいてなっとくしました。男性だから〇〇しなきゃいけない、女性だから〇〇しなきゃいけないというへんけんにはばられない方がいいと思いました。
- ・すごくむずかしい内容でした。
- ・僕は参画ということばをしらなかったで、今日きいて、いろんなことがわかりました。
- ・DVの事をきいて色んな事がDVにつながっているんだなと思い、自分はやらないと意識をもって相手の事を考えたいと思いました。
- ・自分は、男女での偏見がまだまだあるとわかったので、このセミナーを1つとし、改善していけたらいいなと思いました。
- ・今まで、聞いたことはあるけど、意味は知らないことなどが聞けてよかった。男女共同参画社会基本法が第何条まであるのか気になった。
- ・外国人は、30代の女性労働率が高いのは、子育てと仕事で両立できるからですか？

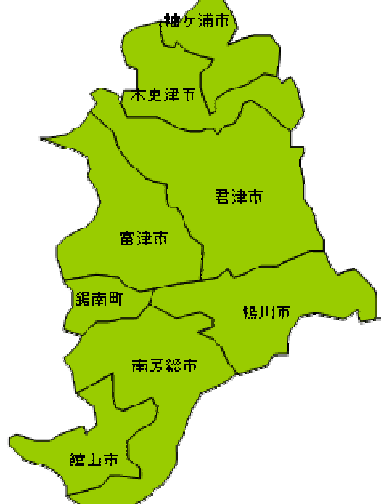
令和2年11月11日(水)



令和2年12月25日(金)



「男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会」



A cartoon drawing of a yellow dog with large eyes and a red speech bubble coming out of its mouth. The dog is standing on its hind legs with its arms outstretched.

ダッペイ



イメージキャラクター
「みかえりちゃん」

千葉県男女共同参画地域推進員(南房総地域)

目 次

◇はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-------------------------------	---

◇木更津市立岩根中学校 令和2年11月11日(水)	
---------------------------	--

男女共同参画セミナー「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」 ～劇団なのはな～

○ 事業結果・・・・・・・・・・・・・・・・	2
○ 役割分担・・・・・・・・・・・・・・・・	3
○ セミナーの様子・・・・・・・・	4
○ アンケート結果・・・・・・・・	5
○ セミナーの概要・・・・・・・・	11

◇男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会 令和2年12月25日(金)	
--------------------------------------	--

講演:「男女共同参画と防災・復興」 ～新型コロナウイルスリスク下における避難所運営および人権問題も踏まえて～ 講師:浅野幸子さん(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

○ 事業結果、役割分担・・・・・・・・	13
○ 研修会の様子・・・・・・・・	14
○ アンケート結果・・・・・・・・	15
○ 研修会の概要・・・・・・・・	19

◇1年間の活動を振り返って・・・・・・・・	21
-----------------------	----

◇令和2年度活動記録・・・・・・・・	30
--------------------	----

～千葉県男女共同参画地域推進員について～

男女共同参画社会づくりの推進には、県民一人ひとりの意識改革が必要です。

そのため、千葉県では、県内を6つの地域に分け、それぞれの地域で活動する地域推進員制度を設けています。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、講座・講演会の開催などを通じ、地域での男女共同参画の推進を目指します。

はじめに

この一年間を振り返って年度の締めくくりをするにあたって、一番に思うことは地域推進員として活動をしてきたメンバーの方々や行政の担当者の皆さんが健康に過ごすことができた事だと思っています。

各々が地域や市町の役割の中で多くのリスクを抱えての日常だったと思いますが、個々人がしっかりとしたコロナウイルス感染症対策に取り組んでくださったことで、無事に年間計画の2つのイベントを遂行することが出来ました。

地域推進員会議の全メンバーに心より感謝申し上げます。また、同様に全力でサポートを頂いた男女共同参画センターの皆様にも心からお礼申し上げます。

現在、様々なイベントに制限が設けられており、思うような活動は出来ませんが、何より主催者となる私達推進員が細心の注意を払って健康に過ごすことも大切な活動のひとつであり、思いやりの形でもあると思います。

苦しい状況、厳しい状況でこそ、「男女共同参画」の意義や精神が発揮されると確信しており、この時期、推進員として学ばせて頂けることを喜びと感じて、次年度への決意を新たにいたしました。

リーダー 小野 久美子(木更津市)



男女共同参画セミナー

「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」 ～ 劇団なのはな ～

【日 時】 令和2年11月11日（水） 午後1時20分から2時15分

【会 場】 木更津市立岩根中学校 体育館

【参加人数】 89名（生徒61名・教員10名・スタッフ18名）

（アンケート回収数60：男子22人・女子38人）

【当日の流れ】

10:00	集合・会場設営
11:00	リハーサル
12:15	昼休憩
13:10	生徒入場
13:20	「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」
14:15	終了・片づけ、打合せ
15:30	解散



【役割分担】

全 体

解 説	宗政（袖ヶ浦市推進員）、浅沼（鴨川市推進員） 岡安（鴨川市）
司 会	小山（木更津市推進員）
記 録	青木（館山市推進員）
写 真	事務局
ナレーション	小野（木更津市推進員）

場面1 家事の役割分担 ～家庭内での男女共同参画を考える～

お母さん	森（館山市推進員）
お父さん	境屋（袖ヶ浦市推進員）
長 女	三木（君津市）
二 女	寺田（鋸南町）
おばあちゃん	岡本（袖ヶ浦市）

場面2 みなさんの進路はどのように考えていますか？

女子生徒A	渡（鋸南町推進員）
女子生徒B	田澤（富津市）
男子生徒C	青木（館山市推進員）
男子生徒D	小谷（南房総市）
男子生徒E	岩根中学校教諭

場面3 トイレ掃除

先 生	宗政（袖ヶ浦市推進員）
女子生徒1	岡本（袖ヶ浦市）
女子生徒2	寺田（鋸南町）
男子生徒1	小山（木更津市）
男子生徒2	節田（館山市）

場面4 デートDV

秋 男	岩根中学校教諭
夏 子	渡（鋸南町推進員）
女子生徒	田澤（富津市）

＜木更津市立岩根中学校 セミナーの様子＞



【司会をする小山推進員】



【ブルーとピンクの紙で意思表示する生徒たち】



【シナリオ1 家事の役割分担】



【シナリオ2 みんなの進路はどのように考えていますか？】



【解説や質問をする宗政推進員】



【シナリオ3 トイレ掃除】



【寸劇のナレーションをする小野推進員・
解説をする浅沼推進員】



【シナリオ4 デートDV】

南房総地域推進員

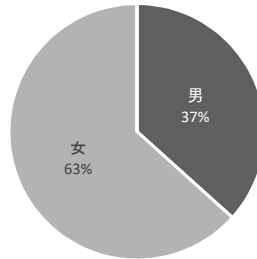
木更津市立岩根中学校寸劇 アンケート結果

- 日 時 令和2年11月11日（水） 午後1時20分から午後2時15分
 ○場 所 木更津市立岩根中学校 体育館
 ○参加者数 89名（生徒61名 教員10名 スタッフ18名）
 ○アンケート回収 60枚

Q.1 性別について

	男子	女子	性別 無回答	合計
1年生	22	38	0	60

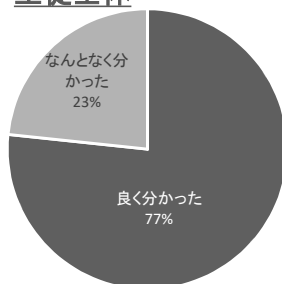
生徒全体 男女比



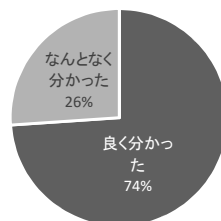
Q.2 今日のセミナーは分かりやすかったですか。

	良く分かった	なんとなく分かった	あまり分からなかった	小計
男 子	17	6	0	23
女 子	29	8	0	37
合 計	46	14	0	60

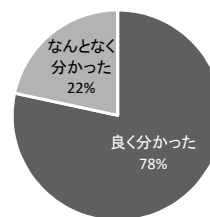
生徒全体



男 子



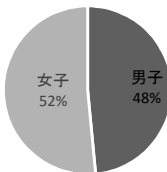
女 子



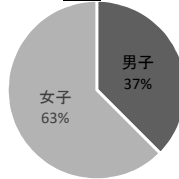
Q.3 寸劇で「よかった」「わかりやすかった」と思ったのはどれですか？（複数回答可）

	寸劇1 家事の役割分担	寸劇2 みなさんの進路は どのように考えて いますか？	寸劇3 トイレ掃除	寸劇4 デートDV	無回答
男 子	16	15	12	12	0
女 子	17	25	10	18	0
合 計	33	40	22	30	0

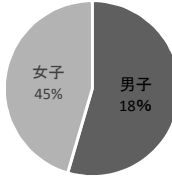
寸劇1
家庭内での家事の
役割分担



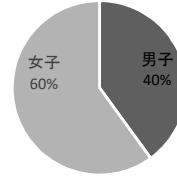
寸劇2
みなさんの進路は
どのように考えて
いますか？



寸劇3
トイレ掃除



寸劇4
デートDV



その理由を教えてください。

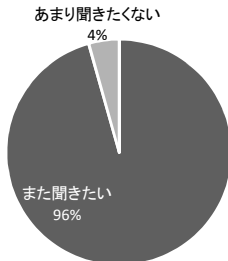
寸劇1 家事の役割分担	・自分の家族と一緒にだから。
	・普段の家と同じだけど、自分はダメだと思うところがわかりやすかった。
	・たまに起こることだから。
	・一人一人が役割を果たせば全員が楽に動ける。
	・自分のことは自分でやるものだから。
	・普段起こりそうな出来事だからとてもわかりやすかった。
	・最後の方で、「男の仕事」「女の仕事」と言葉にしているところがわかりやすかった。
	・母親ばかりに負担がかかっている様子がわかりやすかった。
	・自分も同じことを普段から考えていたから。
	・よく相談をして、役割を決めていくといいと思った。
	・よくあることだったから、「男女共同参画」がわかった。
	・自分の家も同じような感じだから。
	・家でよくあることでわかりやすかった。
	・母だけでなく、皆でやればいいと思った。
	・それぞれの役割があるが、疲れがたまっている時などは皆で協力すればいいと思った。
寸劇2 みなさんの進路は どのように考えて いますか？	・身近なことを題材としていて、すぐわかりやすかった。
	・よくあるシチュエーションだったのでわかりやすかった。
	・父がやる、母がやるではなく、自分たちでできることはやりたいと思った。
	・自分の力が発揮できる場所に就くべきだと思う。
	・性別でやりたい仕事ができないようにしたくないと思ったから。
	・具体的な例が出ていてわかりやすかった。
	・自分の夢は、他人ではなく自分で決めるものだから。
	・自分の進みたい道にがんばっていきたいと思ったから。
	・自分がやりたいと思うものをやればいいと思うから。
	・男女関係なく、自分のやりたい職業をやればいいと深く考えることができたから。
	・これから進路を考えていく時期だから。
	・男子はパイロット、女子は看護師といった決まりがないのが分かったから。
	・進路は本当に自分がこれからやりたいことを決めるもので、男女関係ない。
	・男女それぞれやりたいことをやればいいと思った。
	・職業で男女は関係ないと思った。
	・今の自分たちにとても大切なことだったから。

	・これからの進路に役立ちそうをよく考えさせられた。 ・自分も進路を考え中だから。 ・性別に関係なく、自分のなりたい職業に就いていいということがよくわかった。 ・自分の好きなことをすることはいいことだし、進路について考えることができた。 ・自分がやりたいことは、人に何を言われてもやりたいようにしようと思った。 ・自分の特技を活かせる世界でよかった。 ・今後進路を決めるにあたって大切なことに気付けた。 ・自分のことにとっても関わることだったから。 ・自分のやりたいことをすればいいと思った。 ・一人一人が自分に合った仕事や、やりたい仕事をすればいいと思った。 ・自分の可能性が広がったと思った。
寸劇3 トイレ掃除	・女子と男子のよくある身近な話だから。 ・女子だから掃除が上手なんておかしいというのがわかりやすかった。 ・性別で物事を判断するのは良くないと前から思っていた。 ・女子の方が掃除が上手くいけないわけじゃないけど、一般的には男子<女子のイメージがある。 ・女性の方が掃除が上手なことが当たり前ではないことが伝わった。 ・男だから下手、女だから上手にできて当たり前とかではなく、人それぞれだと思った。 ・トイレ掃除の上手・下手に男女は関係ない。 ・男女関係なく苦手な人がいるから。 ・自分の周りにも起こることだったのでわかりやすかった。 ・掃除は苦手・得意があるから、男女は関係ないと思った。
寸劇4 デートDV	・劇を演じている人たちがそれぞれ分かりやすいように寸劇してくれた。 ・中学生に身近なことであり、正しいことやみんなの意見が聞けてよかった。 ・DVという言葉は初めて聞いたが、意味がよくわかった。 ・自分が仲良くしたい人は自分で決めればよかった。 ・女性と付き合っていたら、他の女性と帰るのはダメだと思った。面白かった。 ・誰とでも話す自由があると思った。 ・DVについてもっと知ることができた。 ・DVの意味をわかりやすく寸劇でやっていた。 ・自分がされたら嫌だと思ったから。

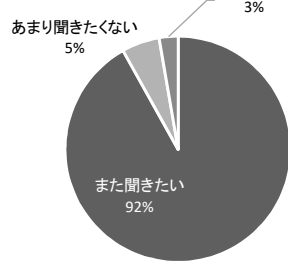
Q.4 このようなセミナーをまた聞きたいですか？

	また聞きたい	あまり聞きたくない	無回答
男子	22	1	0
女子	34	2	1
合計	56	3	1

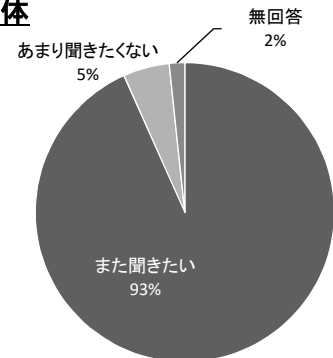
男子



女子



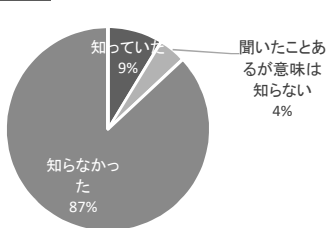
生徒全体



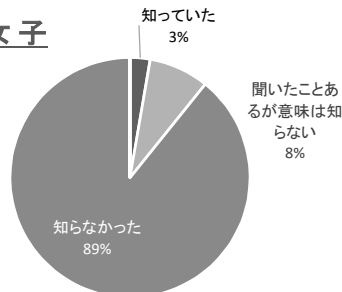
Q.5 男女共同参画という言葉を知っていましたか？

	知っていた	聞いたことあるが意味は知らない	知らなかった	無回答
男子	2	1	20	0
女子	1	3	33	0
合計	3	4	53	0

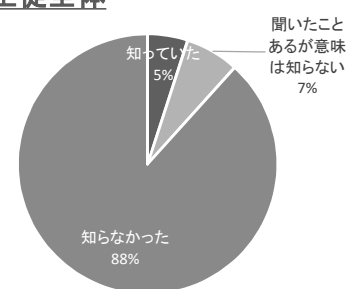
男子



女子



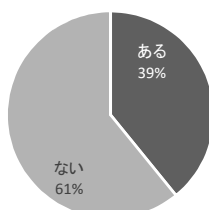
生徒全体



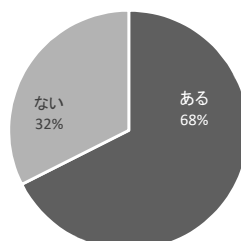
Q.6 「女の子らしくしなさい」「男の子らしくしなさい」と言われたことがありますか？

	ある	ない	無回答
男子	9	14	0
女子	25	12	0
合計	34	26	0

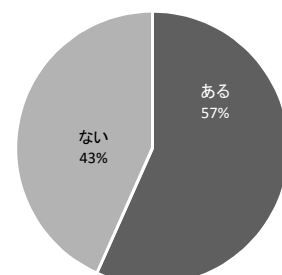
男子



女子

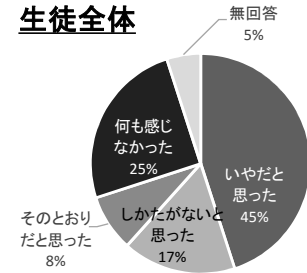
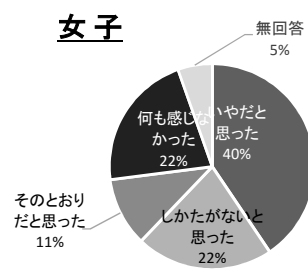
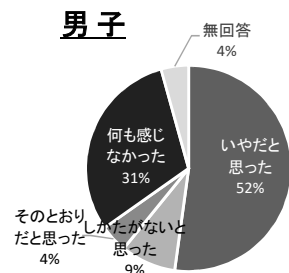


生徒全体

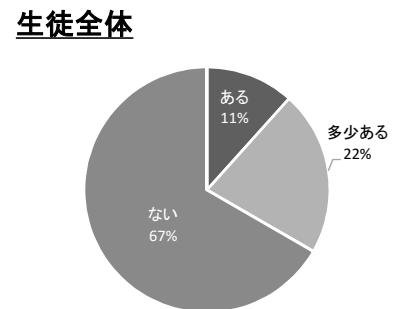
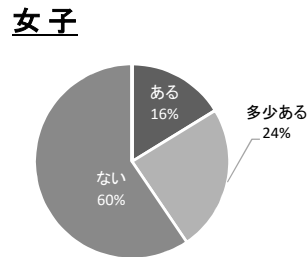
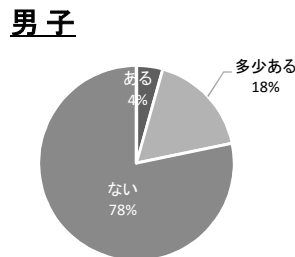


Q.7 あなたはそういう考え方についてどのように感じましたか？

	いやだと思った	しかたがないと思った	そのとおりだと思った	何も感じなかった	無回答
男子	12	2	1	7	1
女子	15	8	4	8	2
合計	27	10	5	15	3

**Q.8 普段、生活している中で男性・女性それぞれの役割分担があると思いますか。**

	ある	多少ある	ない	無回答
男子	1	4	18	0
女子	6	9	22	0
合計	7	13	40	0

**それはどのような場面で感じますか？****「男子」**

①ある	・男は世に出て、女は家にいる。
②多少ある	・掃除分担、委員会などの分担がある。 ・掃除で男子が机とか重いものを運ばなくてはいけない時。 ・筋力的なものは男性、バレーなどのスポーツは女性など。
③ない	・家事には、性別による「義務」が無いから。 ・昔の文化にとらわれず、男女共同を尊重して欲しいと感じる。 ・特にない。

「女子」

①ある	・掃除の時や委員会の時の人数。 ・家では、父は家事をしなくて、父以外が家事をする。父は家族のために仕事をしてきたのだから家事をしなくていいと言われたので、女性は家事担当、男性は仕事担当だと思った。 ・父が家事やペットの世話をまったくしないこと。弟ばかり海や山に連れていってもらえていること。 ・トイレ掃除や重たい荷物を持つ時。 ・掃除時や、体育の時、学校の服装。 ・家で母は家事をして、父が外で仕事をしていること。
②多少ある	・女性は家事、男性は仕事。 ・重たい物を運ぶ時。 ・洗濯物や食事の用意を母がしている時や弟の世話をしている時。 ・男は力仕事を任されるけど、女は任されないところなど。 ・「男子なんだから、重いものを持って」と女子が言っていた時。 ・女性家事や料理をしている時。 ・女子が重たい荷物を持ったり雑用をするのではなく、男子も手伝ってあげないのかなと感じる。 ・仕事で男性だけ、女性だけ、という部分があると感じる。 ・力仕事や外での作業を男性が多くやり、室内での仕事女性が多くやっているから。
③ない	・自分がやりたいものをやればいい。 ・自分は男女関係なく家でも過ごしているから。 ・男女の話をする時。 ・父も母も家事をしているから。

Q.9 今日のセミナーを聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。

男 子	・男女の差別などいろいろな意見を聞けて良かった。
	・男女共同参画という言葉の意味がわかった。寸劇の内容がよくわかった。
	・自分のことと相手のことを考えていれば平等になると感じた。相手の自由を尊重しようと思った。
	・今回の寸劇を見て男女が平等になったらいいと思った。
	・男女共同参画がどういうことかよくわかった。今の世界は、自分の趣味・特技が活かせる社会だと思った。
	・掃除とDVの寸劇が面白かった。
	・男女の差別を減らしたいと思った。
	・男女にはいろいろなことがあると感じた。
	・寸劇を見て、普段の行動を見直そうと思う人が増えると思った。人の権利を尊重し、大切にしていこうと思う。
	・性別などでいろいろなことが決めつけられないような国になるといいなと思った。
	・説明がとても聞きやすく、初めて知ったことがあり、とても良いセミナーだった。
	・寸劇は場面が想像しやすい内容だった。
	・寸劇の内容がよくわかった。
	・初めて知ったことがあり良かった。
	・男女の差別があることがわかった。
	・男だから、女だからで区別するのはおかしいと思う。やりたいことができた方が夢が広がっていいと感じた。
	・男女共同参画がよくわかったし、寸劇も面白かった。
	・性別にとらわれずに、互いに尊重することが大切だと思った。
	・男女は互いに尊重するべきと思った。
	・男女の違いを解消することは難しいが、存在してはいけないことだと思った。
女 子	・ジェンダー平等が実現すればいいと思った。
	・男女共同参画やDVなど知らない言葉がわかりやすく説明してくれて良かった。
	・寸劇の内容もわかりやすく、よく理解でき、とても楽しかった。
	・男女で差別をするのは反対だと思った。
	・男性も女性もひとりの人間だと改めて感じた。性別による仕事や固定概念を無くしたいなと思った。
	・家では自分でできることは自分でやれば役割ができてよいと思った。
	・「男女共同参画」という言葉を初めて聞いたが劇のおかげでよくわかった。劇も楽しくてわかりやすかった。
	・男女共同参画についてもう少し詳しく知りたいと思った。
	・男女共同参画についてとてもわかりやすかった。次も同じような機会があればまた話を聞きたい。
	・性別によって仕事は決まらないので、自分のやりたいことをやればいいと思った。
	・寸劇を見て自分の意見と合っていることがわかった。
	・男女共同参画が最初どんなものかわからなかったが、寸劇を見て男女差別を無くそうと思った。
	・男女差別を無くして思いやりのある社会にしたいと思った。
	・寸劇を見て、様々な関係で大事なことがわかった。今日学んだことを今後の生活に活かしていきたい。
	・これから男女関係なく話をしたり、仕事などの進路を決めていきたい。
	・寸劇がわかりやすく、今日初めて知った男女共同参画について色々理解できた。
	・寸劇は、自分の家でもあることをやっていた。今後、男女共同参画のことをもっと調べていきたいと思った。
	・今でも男女差別のようなことがあるが、差別の無い方が自分のやりたい仕事も自由に選べていいと思った。
	・寸劇は楽しかったが、もう少し本気でやってほしかった。もっと本気でやれば、もっと伝わると思う。
	・男女関係なくお互いを尊重し合うことが大切なんだと思った。とてもいい経験ができた。
	・男女共同参画というのを知らなかったの、寸劇によって知らなかったことが知れてよかった。劇も面白かった。
	・男女共同参画について知らなかったが、説明や寸劇を見て意味が理解できた。
	・女性だから～、男性だから～ということが少なくなっていくといいなと感じた。
	・言葉ではなく、劇で説明されることによってすごく理解ができた。
	・男女共同参画の意味を知らなかったが、寸劇によって短時間で理解ができた。
	・男女共同参画が実現すればいいなと思った。
	・口だけの説明ではなく、「寸劇」という形での説明はとてもわかりやすく、深く考えることができた。
	・男女差別せずに平等に接することが大切だと思った。
	・とてもわかりやすかった。まったく知らなかったことが知れていい機会だった。
	・男女共同参画を初めて聞いたが、自分の性別を楽しんで後悔しないようにしたい。
	・進路は男女関係なく考えていんだと思った。
	・自分が思った以上に詳しく説明があったので、知らなかったことが今日の寸劇で沢山わかった！
	・自分がやりたいと思った職業は、性別や他の人の意見に関係なく、自分がやりたい職業に就いていいと思った。
	・日常であることや、これからの進路などがわかってすごくいい時間になった。人それぞれで良いと思った。
	・自分の気持ちや意見、性格などをしっかり理解して、性別にとらわれずに生きていくことが大切だと思った。
	・今回のセミナーのおかげで男女共同参画というものがあることがわかった。
	・自分も固定的な役割にとらわれずに自分らしく生きていこう！と思うことができた。
	・自分たちが知らなかったことを詳しく教えてくれてとてもいい機会になった。
	・男女関係なく、仕事を選べることや権利があることがわかった。
	・男女である前にひとりの人間として見た方がいいが、多少は「男」と「女」の違いはあると思っていた。しかし、今日の寸劇を見てやっぱりおかしいと感じることがあった。
	・これから生活していく上で今回の寸劇のような場面に出会うかもしれないので、今日のことをしっかりと覚えておきたい。

＜木更津市立岩根中学校 セミナーの概要＞

岩根中学校の校内には清々しい空気が流れているように感じられました。「清潔道」と書かれた貼り紙が廊下の要所要所に掲示されていて、中学校にピッタリの標語だと思いました。

男女共同参画の意味を生徒たちに分かりやすく説明するのに身近な事例を題材とした寸劇でどこまで伝えることができるだろうか。期待と不安の中で会場となる体育館に入りました。高い天井と広々とした空間の環境の中で1回、2回とりハーサルを重ねていくと本番がリアルにイメージできるようになっていました。

定刻に近づくとブルーのジャージを着用した生徒たちが整然と入場し着席していきます。その様子がとても凛々しく思え、将来世代の中学生と次世代を見据えた男女共同参画の啓発活動のマッチングにわくわく感を覚えました。



【解説する浅沼推進員】

場面1は、「家事の役割分担」です。よくあるシーンですね。生徒たちのお母さんもお父さんと一緒にビールを飲むときがあるのでしょうか。

場面2は「皆さんの進路はどのように考えていますか」です。パイロットになりたい女子生徒、看護師になりたい男子生徒。皆さんも女生徒「B」さんの操縦する飛行機に乗りたいたったのでしょうか。

場面3は、「トイレ掃除」です。掃除が得意な男子生徒に不得意な女子生徒、いろいろあっても良いですね。

場面4は、「デートDV」です。仲良くしすぎて過熱ぎみですね。熱演の「秋男」先生と「夏子」さんのアクションが生徒たちに好評で、生徒たちとの間に一体感を醸し出していました。

解説員の質問に答えて生徒たちが一斉に挙げたピンクとブルーの用紙が花が咲いたようでした。



【ブルーとピンクの紙で意思表示する生徒たち】

生徒たちに「面白かった」と喜んでもらうこと、私たちが「楽しく演じること」、それが寸劇という形で伝えることだと思います。短い時間でしたが生徒たちと有意義なひとときを共有できたと思います。アンケートには生徒一人ひとりが思ったことを回答してくれました。寸劇を通して男女共同参画について生徒たちが考えてくれたことが大きな成果です。これからの活動の示唆として活かしたいと思います。明日の世代の生徒たちに伝える活動は、発展性があります。ありがとうございました。

(記録：青木鉄弘)



「男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会」

【日 時】 令和2年12月25日（金）午後1時30分から3時

【会 場】 君津市役所5階 大会議室

【講 師】 浅野 幸子 さん

（減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表）

（早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員）

【参 加 者】 参加者総数30名（市町職員12名・スタッフ等18名）

【当日の流れ】

12:00	集合・打合せ・会場準備
12:50	最終確認・受付準備
13:00	受付開始
13:30	開会・主催者あいさつ
13:33	講演「男女共同参画と防災・復興」 ～新型コロナウイルスリスク下における避難所運営および人権問題も踏まえて～
14:55	質疑応答
15:00	閉会・片付け
16:00	解散

【役割分担】

総 括	小野（木更津市推進員）
講師対応	小野（木更津市推進員）
受 付	森（館山市推進員）、境屋（袖ヶ浦市推進員） 節田（館山市）
会場案内	宗政（袖ヶ浦市推進員）、田澤（富津市）、岡本（袖ヶ浦市）
司 会	浅沼（鴨川市推進員）
設 営	地域推進員、市町担当者 全員
記 録	小山（木更津市推進員）、青木（館山市推進員）
写 真	岡安（鴨川市）

＜男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会の様子＞



【司会をする浅沼推進員】



【主催者あいさつする小野リーダー】



【講師の浅野幸子さんの講演の様子】



【熱心に講演を聞く参加者】

男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会 アンケート結果

【日 時】令和2年12月25日（金）午後1時30分から3時00分

【会 場】君津市役所5階 大会議室

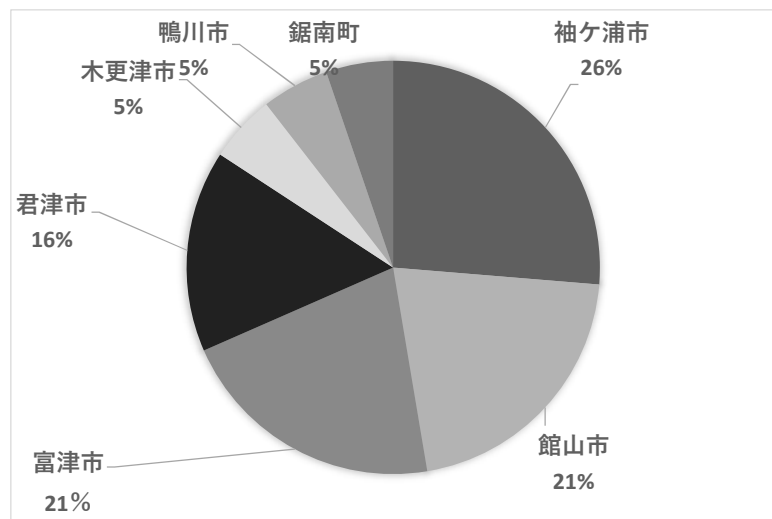
【参加者数】参加者総数30名（市町職員12名、スタッフ等(講師を含む)18名）

【アンケート回収枚数（回収率）】 19枚（65.5%）

アンケート回答結果

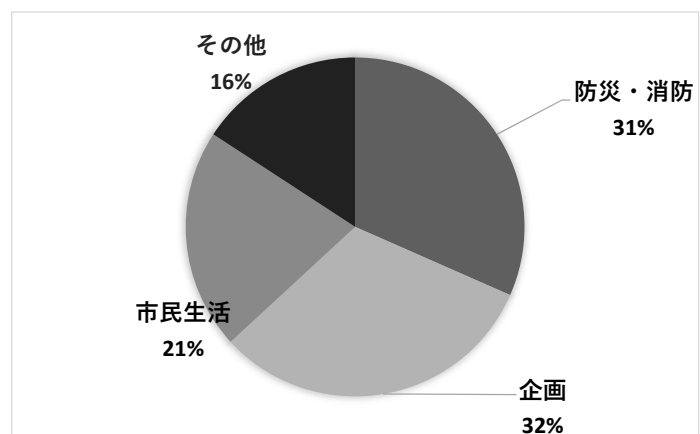
■所属している地域

袖ヶ浦市	5
館山市	4
富津市	4
君津市	3
木更津市	1
鴨川市	1
鋸南町	1



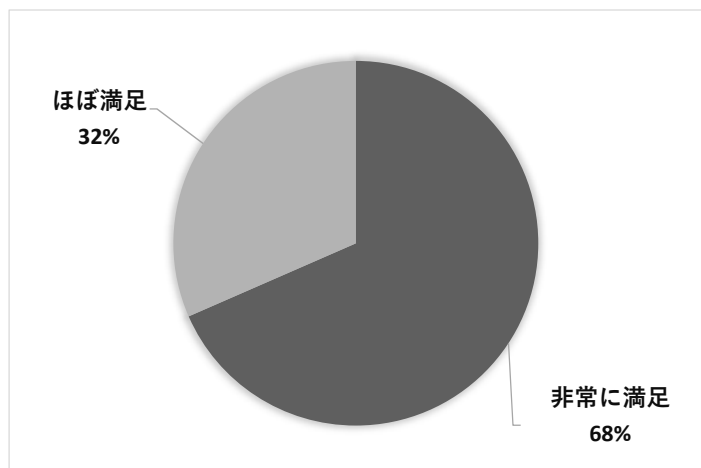
■所属している部局

防災・消防	6
企画	6
市民生活	4
その他	3



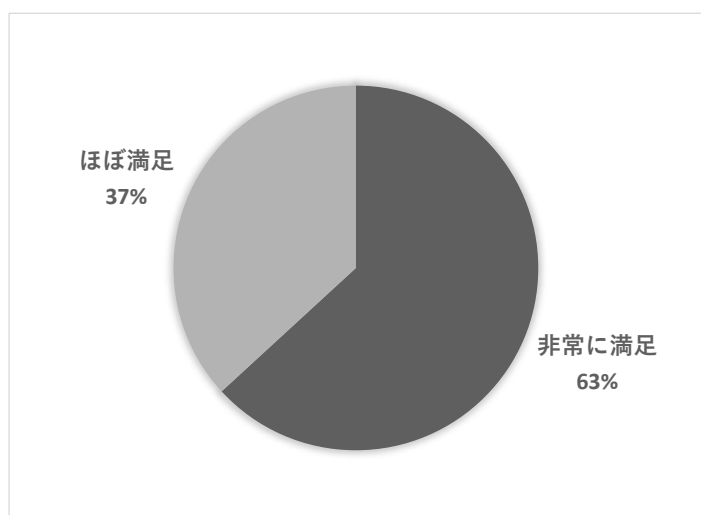
■講演会の評価

非常に満足	13
ほぼ満足	6
やや不満	0
非常に不満	0



■全体の評価

非常に満足	12
ほぼ満足	7
やや不満	0
非常に不満	0

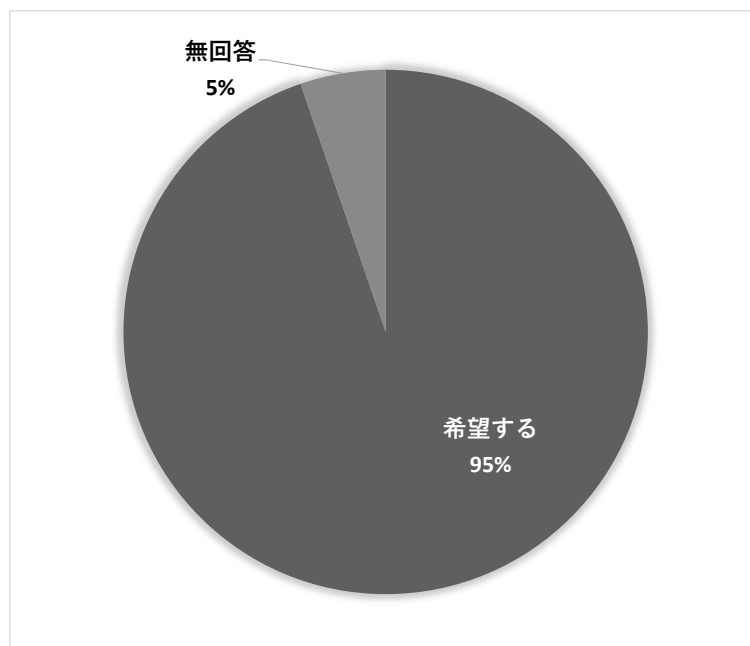


■講演等についての具体的な感想

所属部局	具体的な感想
企画	男女共同参画の担当として、避難所でどのようなことに気を配るべきなのか、とてもよく理解することができました。災害が直結しているのではなく、避難所において亡くなる方が多いことを知り、私たち行政と地域リーダーが協力し合って運営していくことが大切であると強く感じました
	地域防災計画等において、男女共同参画の視点が足りないことを痛感いたしました。大変勉強になりました。
	東日本大震災や熊本地震の経験等、実体験のお話で大変参考になった。 女性に配慮した取組が幼児や高齢者のケアにもつながっていくというのはとても納得した。
	避難所のことばかり考えがちだが、在宅避難者にこそ、要配慮者が多いと思った。都市型の場合、その傾向は強くなり、自助が必要だと感じた。自己責任の風潮など、意識の問題は根深く、知識を持った人を増やし、その人たちが声をあげていくことが重要。まずは認知、その後、皆が同じことを言える雰囲気をつくっていききたい。
	大変ためになりました。ありがとうございました。
防災・消防	普段の防災に関する研修では、男女共同参画の視点で話を聞くことがなく、非常に新鮮で、勉強になる話が多くありました。
	現在、木更津市消防本部においても、女性職員の活躍促進を図り、女性消防士だからこそ対応できる、きめ細やかな対応力を市民のニーズに沿った活動ができるようにするよう努めています。今日の講演を参考に消防組織として男女共同参画の基本的な考え方等を再度学び、より良い組織になるように日々の業務に取り組みたいと思います。
	阪神淡路大震災以来、様々な災害場面で対応、活躍された豊富な経験に基づく講演は非常に勉強になり有意義でした。特に防災対策と男女共同参画は同一目線で行うべきであるとの話は、今後の業務に反映させていきたいと思います。 ありがとうございました。
市民生活	避難所の運営に女性が必要ということを改めて実感。 防犯対策もしっかりできるように、組織の構成に努めたいです。
	今回の内容は、ぜひ地域の防災組織の皆さんにも聞いて頂きたい。コロナが収まれば、もう一度お願いしたい。
その他	女性のリーダーがいかに大切かがわかりました。民生委員の役割が良くわかった。
	現在、コロナ仕様の避難所運営マニュアルを見直し・再作成していますが、女性参画の視点も重要なことに気づかされました。本日はありがとうございました。

■ 今後もこのような防災関連の研修会の開催を希望しますか

希望する	18
希望しない	0
無回答	1



「男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会」

＜研修会の概要＞

【プログラム】

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
- 3 講演「男女共同参画と防災・復興」
～ 新型コロナウイルス感染症リスク下における
避難所運営および人権問題も踏まえて ～
講師 浅野 幸子さん
(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)
(早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員)
- 4 閉会



【講師の浅野幸子さん】

昨年の相次ぐ台風で大きな被害を受けた千葉県。断水や長期の停電、避難所生活を経験したメンバーもあり、さらには新型コロナウイルス感染の心配から、防災の研修会を行うこととしました。参加者は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と会場の収容人数から、地域推進員と市町職員としました。

講演概要

- コロナ禍では、分散避難が基本。無理してまで避難所に行くことはない。在宅避難も選択肢のひとつ。在宅避難で心配なのは必要物資が届かないこと。避難所と在宅避難者をつなぐ仕組みが必要。
- 熊本地震では災害関連死は直接死の4倍以上だった。我慢や根性だけでは生き抜けられない。被災者支援の質を向上させることが大切。
- 避難所のリーダーは男性が多い。女性の方が相談しやすいため、女性にもリーダーになってもらい相談の取りまとめをしてもらうといい。
- 防犯対策として、避難所を開設したら、避難者全員（男性・女性・子ども・高齢者）に向け安全対策の話をするといい。（何かあったら連絡を、警察とも連携している など）照明を増やしたり、防犯担当に女性も入れるといい。
- 障がいを持っている方々は自分が生きやすくするための知識や経験が豊富で伝える力もあるので、ぜひリーダーに入ってもらいたい。
- コロナ禍では避難所の換気も大事なので、「換気する時間ですよ」と声をかける換気係を決めておくといい。
- 行政職員は発災後1週間は帰れない（家族に会えない）と考え、最低1週間分の備蓄など自宅の備えをしておくといい。

- 自衛隊には有事の際、駐屯地内に研修を受けた自衛隊員による託児室を開設。自衛隊員は自分の子供を預け、安心して任務につける。このような仕組みが自治体にも欲しい。
- 2020 年5月に「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の改訂版が内閣府から公表された。この中で、「平時の備え」「初動段階」「避難生活」「復旧・復興」の各段階の課題等が記載されている。行政向けとなっているが、災害発生時現場で活用できるチェックリストなどの便利帳も掲載されているので、ぜひ活用を。



質疑応答

Q 1 コロナ禍における避難所の運営は？

A 1 空間や動線を分ける。

「少しでも変だったら教えてください」と相談しやすいようにやさしく声をかける

Q 2 避難所の運営人員を確保するには？

A 2 避難者もできることを手伝う。(例、避難者みんなで掃除をする)

Q 3 民生委員が在宅避難者をつないだ事例は？

A 3 宮城県でホテルを避難所としたが避難していない人が多かったため、地区を分けて、情報を持つ民生委員も一緒に安否確認＋食料配付を行った。その結果、早く安否確認できた。

感想

自助はもちろんだが、自分が助かるためには、人に寄り添う共助の精神も必要。行政職員だから避難者だからではなく、みんなが被災者としてお互い助け合い、一緒に避難所で生き延びるため、男性女性に縛られず自分にできることをやる、それが大切だと感じました。

行政職員、高齢者、障がい者、女性、若者、民生委員、などなど避難所を取り巻く様々な方々がお互いに連携し合い、助け合うことが大事と気づきました。

(記録：小山百合子 青木鉄弘)

◇1年間の活動を振り返って

○ 地域推進員から

全体研修会で「防災と男女共同参画」と題した講座が印象的でした。「殺伐とした避難所の女性が花を生け、身の回りの雑貨品などを整理整頓した。荒れた気持ちが和やかになって場の雰囲気が変わっていった。」という事例がありました。

コロナ禍などの自然災害や人的災害が多発している現況では、避難所の女性のような感性、視点が求められていると思います。男女共同参画の一端を知った思いでした。

館山市 青木鉄弘

昨年4月、新型コロナウイルスという得体の知れないものが流行し始めた頃、知人の勧めもあり、男女共同参画地域推進員として活動を始めました。とは言え、言葉として知っている程度で内容は分からず、定年後、自由気ままに暮らしていた私にとっては何か参加させてもらえるならという軽い気持ちでした。

毎月の会議に加え、9月の防災に関する全体研修会、11月の中学校での寸劇事業、12月の防災リーダー研修会等のイベントがあり、講師のすばらしい講義に聞き入りました。また、寸劇のドキドキ感の楽しい体験も出来ました。先輩方の司会や進行など関心するばかりです。

世の中のあらゆる出来事に対処する力の必要性を実感する昨今です。元気で明るい地域づくりに少しでもお手伝いできるよう地域推進員として励んでいきたいと思っています。

館山市 森康子



一言で大袈裟に言えば、「未知との遭遇」とでも表現したい一年でした。

ソーシャルディスタンスをとった会議、こんなに離れているのは初めてとの実感。中学校での寸劇はフェイスシールドを装着しての演技。何もかも初めてのことばかりでしたが、メンバー皆で色々な意見を出し合って工夫しながら団結してイベントを成功させることが出来ました。

たくさんの事を学ぶことができたことに感謝しています。ありがとうございました。

木更津市 小野久美子

初めて地域推進員となり、体温測定と手指消毒、マスク姿での初会合は緊張感たっぷりでした。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、事業実施について関係者のご協力をいただき、メンバーのアイデアとやる気で、寸劇事業（中学校1校）と防災リーダー研修会を実施することができて良かったです。なかでも、伝統ある「寸劇」では皆さんの名演にびっくりするとともに、中学生の真剣な眼差しにも感動しました。

また、メンバーの若い方々が結婚したと華やかな話を伺い、幸せな気分にもなりました。

これからも男女共同参画社会づくりに取り組む地域推進員として、微力ながらこの活動が続けたいと思います。一人でも多くの方々にとって、男女共同参画という言葉が身近に感じられることを願って！

木更津市 小山百合子



「男女共同参画社会」昔に比べればこの言葉は世の中に浸透しているようにも見えますが、中身は？と言えば私もしっかりと説明できないほど難しい内容です。

言葉ではなかなか説明しきれない内容を、寸劇で伝える。最初は首をかしげていた中学生も、終わりの頃には少しは理解してもらえたようでした。私は寸劇に参加して「男女共同参画」とは「世界が広がる」そんな感覚を覚えました。

防災セミナーもとても興味深い内容でした。「女性のニーズは女性にしかわからない」確かに。そのような誰もが当たり前に思っていることが、ひとたび災害等に見舞われると、見落とされてしまう事実に驚きました。そこに「男女共同参画」の視点の重要性があるだと思いました。

今後も研鑽を深めていきたいと思います。

鴨川市 浅沼紀子

今年度の事業は、岩根中学校での出前講座と浅野幸子先生による「男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会」でした。出前講座では、「家事の役割分担」の寸劇を行い、お父さん役を担当しました。

この寸劇を3年間やって、生徒たちの反応が毎回違うので楽しくやっています。内容は、大変分かり易く身近なテーマなので、男女共同参画について理解しやすいのではと思っています。

今年度は、新型コロナの影響で、活動が思うようにいきませんでした。その中で、人との繋がりの大切さを痛感した一年でも有りました。

袖ヶ浦市 境屋邦夫



今年度は、小野リーダーのもと、新しい推進員との活発な意見交換で始まりました。継続している中学校への寸劇出前講座と防災リーダー研修会がコロナ禍での開催が心配されましたが無事終わりました。

寸劇では、若い時から性別に関係なく共に理解し、お互いに認め合いと思いやりを持った生活が自然に出来、また、幸せを感じられる世の中になってほしいと思います。

防災リーダー研修会では、女性リーダーが積極的に要望を聞くと男性に話せない事が聞ける等、女性の活躍が避難所運営の鍵であると感じました。

最近、新聞に多様性、ジェンダー、LGBTの文字が目につくようになりました。履歴書に性別や写真のない様式に変更との記事があり、少しずつでも性的少数者に生きやすい、それが特別でなく普通なんだと思う日が来る事を願っています。

袖ヶ浦市 宗政礼子

地域推進員として、早1年。どんな活動をするのか、いまだに理解できていません。

コロナの影響もあり、催し物が中止になる中、中学校での寸劇は、先生方の協力もあり、生徒達が笑いながら楽しく学べたのではないかと思います。

男女共同参画という言葉をもっと世の中に広めていけたらいいのかなと思ってます。

鋸南町 渡ひとみ



今年度から男女共同参画の地域推進員になりました。不本意ながら自身の仕事が忙しく、なかなか会議等に参加することができませんでした。が、鋸南町をはじめとする南房総地域に少しでも男女共同参画という認識が広まってほしいと考えています。

そして、男女共同参画について、皆さんと話し合い等できる日を楽しみにしています。

鋸南町 森比佐之



○ 各市町担当職員から

本年度の活動で最も印象深かったのは、木更津市立岩根中学校で行った寸劇事業です。この寸劇事業では、「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」をテーマに、家庭における固定的な役割分担など、4つのシーンを演じました。亭主関白の父と専業主婦の母のもとで育った私は、おそらく、男女共同参画担当にならなければ、家庭内に潜む問題に気がつかなかったと思います。

男女共同参画、もっと言えば、誰もがいきいきと活躍する社会の推進のためには、これまでの常識に疑問を持ち、社会に「気づき」を与えていくことが肝要だと考えます。

引き続き、南房総地域の推進員の皆様、各自治体・県職員の皆様と一緒に、活動の幅を広げていけたらと思います。

館山市 節田雅史



今年度から男女共同参画の担当となりました。何も分からない状態でしたが、毎月会議に参加することが楽しく、地域推進員の皆さんや南房総地区担当職員の方々と取組を行うことができました。

当初、寸劇事業では、この歳になって劇をするのか・・・？と、不安な気持ちが大きかったですが、経験豊富な皆さんに助けられ楽しんで取り組むことができました。

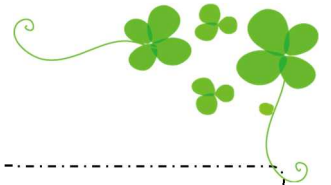
私は、寸劇を実施した中学校の生徒たちの感想等を取りまとめる集計担当だったこともあり、様々な生徒たちの男女共同参画に対する生の声に触れることができたため、ラッキーだったと感じています。

寸劇事業は、男女共同参画を子どもたちに分かりやすく伝える最高の方法だと思いますので、来年度は複数校で実施できれば素晴らしいことだと考えます。

今年度の反省を活かし、引き続き南房総地区の皆さんと男女共同参画の推進につながる取組を行っていききたいと思います。1年間、ありがとうございました。

木更津市 小山真史





担当3年目となる今年度は、「寸劇事業」と「防災リーダー研修会」に参加しました。寸劇の練習や打合せなど手間はかかりますが、生徒たちへの訴求力が高く、効果的な伝達手法であると改めて実感しました。

研修会では、男女共同参画の視点から災害避難所のあり方について講義を受けました。東日本大震災や熊本地震での避難所運営を検証されたうえに行政にも詳しい浅野幸子先生の言葉は、大変説得力がありました。

南房総地域の推進員皆様、各自治体・県職員の皆様と、事業実施を通じて意見交換ができ、大変有意義な1年でした。ありがとうございました。

鴨川市 岡安泰弘



今年度から男女共同参画担当となり、寸劇事業（岩根中学校）と男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会を行いました。

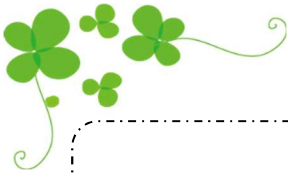
寸劇事業は、初めてで緊張しましたが、中学生にもわかりやすく、男女共同参画社会について考える機会になったのではないかと思います。

また、防災リーダー研修会では、新型コロナウイルス感染症リスク下における避難所運営と人権問題を各市町村の防災担当者等が学びました。多様な視点からの避難所運営が重要だということがわかりました。

今年度はコロナ禍での活動でしたが、感染防止策を講じて、事業を行うことができました。地域推進員の皆様、各自治体の皆様と活動させていただき、有意義な経験となりました。今後も男女共同参画の推進に向けて取り組んでいきたいと思っています。

君津市 三木有香子





男女共同参画の担当になり2年目となりました。

今年度の活動は、木更津市立岩根中学校での寸劇事業と防災リーダー研修会を行いました。

寸劇事業では、家庭や学校など身近で起こりがちなできごとを題材としたことで、生徒の皆さんに「男女共同参画」についての理解を深めてもらうことができたのではないかと思います。

防災リーダー研修会では、浅野幸子先生による「男女共同参画と防災・復興」についての講演を聴き、私自身勉強になることが多く、男女共同参画の視点からの支援を行うことの重要性を改めて認識しました。

今後も皆さんと力を合わせて、男女共同参画の推進に努めてまいりたいと思います。

富津市 田澤佳美



南房総地域では、今年度、寸劇事業と防災リーダー研修会を開催しました。コロナ禍において、この2事業を開催できたことは、とても幸運だったと思います。

寸劇事業では、今期から新たに推進員となられた皆さんも、とても楽しそうに取り組んでおられ、和やかに開催することができました。中学1年生を対象に実施しましたが、男女共同参画の意識啓発は、青年期等の早い段階で行うことがとても大事であると感じました。

次に、男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会では、市町の防災担当課等の職員にも参加していただきました。この研修会を通して、男女共同参画を推進するためには、担当課だけではなく、関連する課等と一緒に取り組んでいくことが必要であると再認識しました。

今後も、男女共同参画の実現に向け、地域推進員の皆様とともに取り組んで参りたいと思います。

袖ヶ浦市 岡本ヤヨイ





男女共同参画の担当者として今年度で4年目となりました。今年度の活動は新型コロナウイルスに伴う様々な制約等が伴い、推進員及び事務局の皆様の相当な御苦勞察いたします。私自身も通常とは異なる業務に追われ、推進員活動に十分な協力ができなかったこと、改めてこの場をお借りしてお詫び申し上げます。推進員活動につきましては、地道に事業を継続していくことが男女共同参画社会の実現に向けた一助になると期待しておりますので、引き続き今後も推進員の皆様と一緒に取り組んで参りたいと思います。

南房総市 押元大起



今年度から男女共同参画の担当になり、センターをはじめ地域推進員、各市担当者の方々と関わるなかで、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

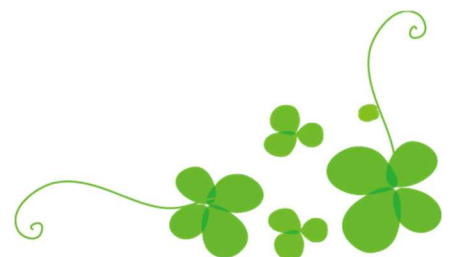
南房総地域の大事業として、中学生を対象とした寸劇、男女共同参画と減災を推進している講師による防災講演を実施しました。

寸劇では、中学生の考え方等を知ることができ大変興味深く感じました。今後の学校生活や卒業後の人生において、選択をする場面が多々ありますが、多様な考え方、生き方があることを思い出してほしいです。

防災講演では、男女共同参画と防災の重要性を実感しました。避難所等で少しでも安心して生活するには、女性等の存在が要となることを男女共同参画担当者として積極的に発信すべきだと感じました。

業務の都合で会議に出席できないことが多々ありましたが、意見交換することができ大変勉強になりました。1年間ありがとうございました。

鋸南町 寺田佑佳



令和2年度千葉県男女共同参画地域推進員 （南房総地域）活動記録

No.	月日	名 称	会 場	内 容
1	6/26 (金)	第1回地域推進員会議	君津市役所5階 大会議室	(1)リーダー・サブリーダーについて (2) 令和2年度会議の開催日程について (3) 第8期活動テーマについて (4) 令和2年度事業について
2	7/31 (金)	第2回地域推進員会議	君津市役所6階 601会議室	(1) 岩根中学校寸劇事業について (2) 寸劇事業役割分担、配役について (3) 男女共同参画の視点からの防災リーダー 講座事業について
3	8/28 (金)	第3回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 多目的ホール	(1) 男女共同参画の視点からの防災リーダー 研修会の講師について (2) 寸劇事業シナリオ確認等について
4	9/25 (金)	第4回地域推進員会議	君津市役所5階 大会議室	(1) 男女共同参画の視点からの防災リーダー 研修会について (2) 寸劇事業について
5	10/30 (金)	第5回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 多目的ホール	(1) 男女共同参画の視点からの防災リーダー 研修会について (2) 寸劇事業について (3) 活動報告書の作成について
6	11/11 (水)	寸劇セミナー「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」 木更津市立岩根中学校体育館 ○寸劇の上演と解説		
8	11/27 (金)	第6回地域推進員会議	君津市役所6階 災害対策室	(1) 男女共同参画の視点からの防災リーダー 研修会について (2) 活動報告書の作成について
9	12/25 (金)	男女共同参画の視点からの防災リーダー研修会 「男女共同参画と防災・復興」 ～ 新型コロナウイルス感染症リスク下における避難所運営および人権問題も踏まえて ～ 君津市役所5階 大会議室		
10	12/25 (金)	第7回地域推進員会議	君津市役所5階 大会議室	(1) 活動報告書の作成及び事業報告会につ いて
11	1月	活動報告書校正作業		
12	2月	活動報告書校正作業		
13	3月	活動報告書製本作業		
14	3月	活動報告書送付		

情報誌寄稿（eパートナー第28号）	小野推進員	各地域のリーダーからの挨拶
情報誌寄稿（eパートナー第29号）	宗政推進員	今年度の取組について

南房総地域



地域推進員

5市町（9名）

◎リーダー ○サブリーダー

青 木 鉄 弘（館山市）	森 康 子（館山市）
◎小 野 久美子（木更津市）	○小 山 百合子（木更津市）
浅 沼 紀 子（鴨川市）	境 屋 邦 夫（袖ヶ浦市）
宗 政 礼 子（袖ヶ浦市）	渡 ひとみ（鋸南町）
森 比佐之（鋸南町）	

市町職員

節 田 雅 史（館山市）	小 山 真 史（木更津市）
岡 安 泰 弘（鴨川市）	三 木 有香子（君津市）
田 澤 佳 美（富津市）	岡 本 ヤヨイ（袖ヶ浦市）
押 元 大 起（南房総市）	寺 田 佑 佳（鋸南町）

令和2年度活動報告書 編集後記



館山市の地域推進員の森と申します。

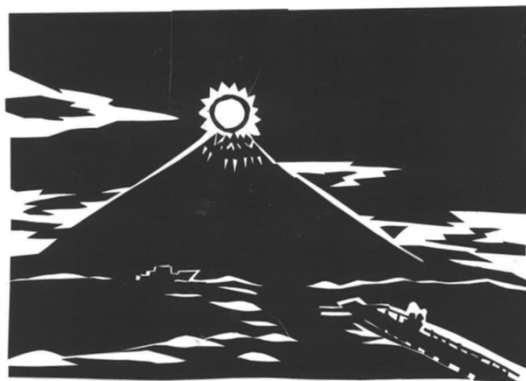
私は、4年程前に埼玉県から館山市に移住し、縁あって、今年度の4月から男女共同参画地域推進員として活動しております。

館山と言えば、トンネルをくぐるとすぐに迎えてくれる高～いやシの木や北条海岸の夕日に映える富士山、美しい海、祭りの賑わい、海上花火などが象徴的です。また、魚が美味しいことも。刺身はもちろん、埼玉県民だった私が初めて館山の揚げたてのアジフライを食べたときは、これまでのアジフライは何だったのかと思うほど美味しくて感動的なものでした。

そんな魅力いっぱいの館山ですが、令和元年9月の台風に続き、このたびのコロナ禍で、特に、地域の生産者の方々のご苦労は大変なものだと思います。

近所の花農家を営まれているご夫婦にお話を伺ったところ、「台風被害でハウス全壊という困難を乗り越えたが、卒業入学シーズンに準備した花がコロナ禍で需要を失い、廃棄処分せざるを得なくなりました。それでも、夫婦、家族が手を取り合い、笑顔で頑張っていきます。」とおっしゃっていました。

心が痛みましたが、男は仕事、女は家事といった固定的な性別役割分担によらず、花農家として夫婦で頑張る姿にたくましさを感じながら、地域推進員として自分に何ができるか、地域推進員としての活動も含め、色々考える1年になりました。



切り絵「ダイヤモンド富士」 館山市地域推進員 青木 鉄弘 作

